

令和元年度 事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

令和元年度の事業総括

令和元年度、当財団では地域経済の持続的な発展に向け、年度当初に掲げた4つの重点支援施策（光・電子技術活用プロジェクトの推進、次世代自動車産業に対応した新事業展開支援、産業用ロボット分野での事業化促進、販路開拓・マッチング機会の創出）を中心に、財団の7つの支援体系に基づく様々な事業に取り組み、おおむね計画通りに事業を実施しました。

重点支援施策のうち、光・電子技術活用プロジェクトの推進、次世代自動車産業に対応した新事業展開支援については、それぞれフォトンバレーセンター、次世代自動車センターが核となり、新たな技術の研究開発やこれまで培ってきた技術力の高度化・高付加価値化のための支援に取り組みました。

また、生産性向上や人手不足といった課題解決のため、産業用ロボットの導入のための諸事業を実施するとともに、令和2年度から、ロボットやIoT導入支援のワンストップ窓口である「スマートものづくり支援デスク」を立ち上げる体制を整えました。

その他、積極的な企業訪問による課題の聞き取りなどを通じて、地域企業が抱える各種課題に対して、ひとつひとつ丁寧に対応し、地域経済の発展に寄与するよう努めました。

一方、年度末は新型コロナウイルス感染症の影響により景気が急速に悪化し、当地域でも大手メーカーの生産停止やサプライチェーンの毀損により、中小企業は大きな打撃を受けています。当財団では今後、これまでの事業成果を踏まえ、企業のニーズに対応した各種施策を臨機応変に実行し、この困難な局面の打開に向け、地域と共に臨んでまいります。

目 次

令和元年度事業の主な成果指標	P 1
令和元年度事業報告	P 5
1 【知る】情報発信	
1 広報事業 《市受託事業・広域 8 市町負担金事業・財団自主事業》	P 5
2 【解く】相談・コンシェルジュ	
2 相談事業（専門家派遣事業含む） 《市受託事業》	P 8
3 企業訪問事業 《市受託事業》	P 9
4 研究会推進事業 《事務局受託事業》	P 11
3 【興す】創業・新事業展開支援	
5 創業・新事業展開支援事業 《財団自主事業》	P 13
6 債務保証事業 《財団自主事業》	P 16
4 【活かす】知財総合支援	
7 知的財産活用推進事業 《市受託事業》	P 18
8 はままつ知財研究会連携事業 《事務局受託事業》	P 21
9 特許等出願支援補助事業 《市受託事業》	P 23
5 【学ぶ】人材育成支援	
1 0 製造中核人材育成事業 《広域 8 市町負担金事業》	P 27
1 1 現場力向上人材育成事業 《広域 8 市町負担金事業》	P 30
1 2 自社製品開発事業 《広域 8 市町負担金事業》	P 32
6 【創る】新事業開発支援	
1 3 新産業創出支援事業 《市受託事業》	P 35
1 4 国等の研究開発事業化支援事業 《国補助事業》	P 38
1 5 競争的資金等獲得支援事業 《広域 8 市町負担金事業》	P 40
1 6 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業 《財団自主事業》	P 41
1 7 地域産業活性化支援事業 《財団自主事業》	P 41
1 8 フォトンバレーセンター事業 《県・8 市町負担金事業、国補助事業》	P 43
1 9 次世代自動車センター事業 《県・浜松市負担金事業、財団自主事業、会員会費》	P 54

7 【拓く】販路開拓支援

- | | | | | |
|----|---------------|------------------|----------|------|
| 20 | ものづくり販路開拓支援事業 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 《市受託事業》 | P 63 |
| 21 | マッチング支援事業 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 《財団自主事業》 | P 67 |
| 22 | 海外ビジネス展開支援事業 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 《市受託事業》 | P 70 |

令和元年度事業の主な成果指標

◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
製品化・事業化件数	30 件	36 件	30 件

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点（以下、同じ）

浜松市産業イノベーション構想で掲げる成長 6 分野に対する事業化等を支援

「浜松市新産業創出事業費補助金」事業化件数

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
次世代輸送用機器	－ 件	4 件	4 件
健康・医療	4 件	5 件	4 件
新農業	2 件	1 件	4 件
光・電子	5 件	4 件	4 件
環境・エネルギー	2 件	2 件	4 件
デジタルネットワーク・コンテンツ	8 件	4 件	4 件

◎事業別成果指標

1 広報事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
ホームページアクセス件数	75,998 件	52,549 件	60,000 件
メールマガジン配信登録件数	1,155 件	1,381 件	1,200 件

2 相談事業

（相談）

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
相談件数（経営・技術・知財総件数）	2,026 件	2,457 件	2,000 件
経営相談件数	892 件	614 件	
技術相談件数	373 件	1,027 件	
知財相談件数	761 件	816 件	

（企業訪問事業）

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
企業訪問件数	1,034 件	1,042 件	1,000 件
新規顧客数	150 社	117 社	200 社

(専門家派遣事業)

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
支援企業数	16 社	16 社	25 社

3 創業・新事業展開事業 ※はままつ起業家カフェ実績

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
相談件数	1,204 件	1,201 件	800 件
起業者件数	95 件	114 件	50 件

4 知的財産活用推進事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
相談件数 ※3	761 件	816 件	700 件
訪問企業数	101 件	98 件	90 件

※3：静岡県発明協会の知財総合支援担当による相談件数を含む

5 特許等出願支援補助事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
特許出願件数（国内）	12 件	13 件	10 件

項目	出願総数	実績	
特許出願登録件数（国内）※3	67 件	25 件	

※3：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成 25 年度からの累計

6 人材育成事業

(製造中核人材育成講座) (現場力向上人材育成講座)

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
「製造中核人材講座」受講者数	30 名	30 名	30 名
「製造中核人材講座」新規受講社数	20 社	7 社	—
「製造中核人材講座」修了者数	35 名	29 名	30 名
「製造中核人材講座」受講者満足度	96%	97%	90%以上
「現場改善スクール」受講者数	28 名	26 名	20 名
「現場改善スクール」受講者満足度	97%	97%	90%以上
現場改善実践企業社数 ※3	3 社	2 社	5 社

※3：「中小ものづくり現場改善スクール」受講者に対する指標

(自社製品開発事業)

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	5 件	7 件	5 件
製品化・商品化件数	1 件	3 件	2 件

7 新産業創出支援事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
新規プロジェクト立上げ件数	一件	3 件	1 件以上
技術連携マッチング件数	1 件	10 件	5 件
訪問企業数 ※延べ件数	22 社	77 社	50 社

8 国等の研究開発事業化支援事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
「サポイン事業※3」申請件数	3 件	5 件	3 件
「サポイン事業※3」採択件数	1 件	5 件	1 件

※3：サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）

9 ものづくり販路開拓支援事業（展示商談会出展補助金）

項目		実績		指標
		平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
国内	出展企業数	32 社	53 社	50 社
	商談成立件数	38 件	112 件	50 件
海外	出展企業数	8 社	8 社	10 社
	商談成立件数	22 件	5 件	10 件

10 マッチング支援事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
「新技術・新工法展示商談会※3」商談成立件数	3 社	2 社	5 社
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	2 件	2 件	5 件
マッチング件数	120 件	83 件	

※3：浜松商工会議所連携事業

11 フォトンバレーセンター事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
相談・対応件数	2,262 件	1,896 件	2,000 件
「光・電子技術活用補助金※3」試作・導入件数	6 件	6 件	5 件
「A-SAP※4」試作・製作等の実施件数	6 件	8 件	7 件
技術ニーズマッチング	62 社	27 社	80 社
商談成立件数	6 件	12 件	15 件

※3：光・電子技術活用促進事業費補助金（製品開発または生産性向上）

※4：産学官金連携イノベーション推進事業

1 2 次世代自動車センター事業

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
会員入会企業数	324 社	342 社	
訪問企業数 ※延べ件数	33 社	84 社	80 社
・固有技術探索チャート作成	8 社	26 社	40 社
・先行企業訪問調査	21 社	31 社	20 社
・技術ニーズマッチング	4 社	22 社	20 社
試作品製作企業	一社	3 社	5 社
商談成立件数	一件	3 件	5 件
会員企業への取引先紹介件数	9 件	一件	
会員企業の事業参加率	77.2%	70.4%	80%

令和元年度 事業報告

※金額は令和元年度決算額、（ ）内は令和元年度予算額、＜＞内は財源

1【知る】情報発信

1 広報事業

決算額 851,482 円（予算額 1,499 千円）	＜浜松市受託＞
決算額 329,400 円（予算額 801 千円）	＜財団自主＞
決算額 1,424,309 円（予算額 1,650 千円）	＜県補助・8 市町負担金＞

【目的】

財団の企業支援情報及び国、県、市などの中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに各種ツールで提供することにより地域企業を支援する。

【年度総括】

令和元年度の広報事業では、年度当初に財団支援施策ガイドを発行し、企業訪問等の際の財団事業説明ツールとして活用した。施策ガイドのうち県西部広域版については年度途中に増刷するなど、当初の想定以上に広い周知活動を実施することができた。また、メールマガジンやホームページでの補助金情報やイベント情報の発信に加え、浜松商工会議所の広報媒体を活用した周知を行うなど、財団事業及び各種支援メニューの知名度向上に努めた。

令和2年度も、地域企業に分かりやすい情報発信を行い、各種施策が多くの企業に活用されるよう、適切な広報を実施する。

【実施内容】

(1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報及び地域企業の研究開発や事業化に有益な情報をホームページ（随時更新）やメールマガジンなどを通じて発信した。紙媒体ツールとしては財団紹介パンフレットの更新及び支援施策ガイドなどを作成した。

ア ＜広域＞メールマガジンの配信

配信日：毎月第1・第3水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関の支援メニューなど

イ 財団紹介パンフレットの発行（年度更新）

発行日：平成31年4月

部 数：1,000 部

規 格：A4 サイズ、4 頁

内 容：財団の業務全般、概要、組織図など

ウ 支援施策ガイドの発行

＜浜松版＞

発行日：平成31年4月

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、32 頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

〈県西部広域版〉

発行日：平成 31 年 4 月

部 数：3,200 部（初版 3,000 部、増刷 200 部）

規 格：A4 サイズ、20 頁

内 容：財団、経済産業省、県西部 7 市町など（浜松市除く）の支援施策及び
成果事例

エ 相談事業・マッチングチラシの作成

発行日：令和元年 6 月

規 格：A4 サイズ

内 容：各種相談対応、財団の支援内容、財団の特長、企業間マッチングなど
※チラシデータのみ作成

オ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（4 月号）

発行日：平成 31 年 4 月 1 日（月）

部 数：15,000 部

規 格：表 3（裏表紙）

内 容：財団補助金紹介

カ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（6 月号）

発行日：令和元年 6 月 1 日（土）

部 数：15,000 部

規 格：表 2、本文中ページ（見開き 2 頁）

内 容：財団コーディネーター無料相談、企業間マッチングサポート紹介

キ ホームページ、メールマガジン配信システム改修

ホームページへのアクセス分析を行い、ページごと、月ごとのアクセス数や
流入経路などを把握した。その結果に基づきホームページの掲載内容の充実や
メルマガにおける配信登録先の情報管理など、システム改修を通じて、迅速で
適切な情報提供に取り組んだ。

ク パブリシティ展開

財団施策メニューや地域企業の新たな取り組み等を報道各社へ投込みし、パ
ブリシティの獲得に向け積極的に対応した。

(2) 企業情報・顧客ニーズ調査把握

既存の企業情報データベース（帝国データバンクの企業情報と当財団コーディネ
ーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース）を活用し、企業のニ
ーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などを推進した。

また、顧客ニーズの把握は人材育成事業の受講者アンケート等により行い、事業
運営の参考とするとともに、マッチング等の具体的なニーズを持つ企業に対しては、
その後の企業訪問等を通じて課題の解決を図った。

(3) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の 7 つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事
務局として、中小企業支援等の相互の情報共有や事業連携を推進した。

〔参加団体〕浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企
業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、
静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イ

ノベーション推進機構

[オブザーバー] (独) 中小企業基盤整備機構関東本部浜松イノベーションキューブ
(独) 日本貿易振興機構浜松貿易情報センター (JETRO 浜松)

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
ホームページアクセス件数	75,998 件	52,549 件	60,000 件
メールマガジン配信登録件数	1,155 件	1,381 件	1,200 件

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

2【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 2,580,089 円（予算額 4,305 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等が抱える経営、技術、人材、情報、知財等の様々な問題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、民間の専門家を派遣し適切な助言を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【年度総括】

令和元年度の相談事業は、積極的な企業訪問における相談対応によって、地域の市場動向や中小企業などが抱える課題等を常に最新の状態で把握することができ、これらの情報を活かしながら、地域企業の課題解決のために財団コーディネーターが日々活動した。相談内容としては、研究開発・新事業展開や販路開拓等が多く、地域企業が新しい顧客の獲得に注力していることが窺えた。また、相談内容によっては専門家を派遣し、経営改善や現場改善、BCP 策定など地域企業の種々の課題について解決を図った。

令和2年度も相談事業により地域企業の課題を把握し、専門家派遣の必要性を見極めながら適切に活用し、地域中小企業の経営改善から新事業展開、販路開拓支援による出口戦略までを見据えた総合的な支援を推進する。

【実施内容】

様々な問題を抱える中小企業者等に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じた。また、専門的知識と実務経験を要する相談に対しては、相談内容やニーズに即した有資格者等を専門家アドバイザーとして派遣した。

(1) 各種相談

・相談件数

項 目	平成 30 年度 ^{※1}	令和元年度 ^{※2}	対前年比
相談件数（経営・技術・知財総件数）	2,026 件	2,457 件	121.3%
経営相談	892 件	614 件	68.8%
技術相談	373 件	1,027 件	275.3%
知財相談	761 件	816 件	107.2%

・活動内容件数

項 目	平成 30 年度 ^{※1}	令和元年度 ^{※2}	対前年比
広報	208 件	214 件	102.9%
創業・起業	10 件	6 件	60.0%
知的財産（特許、商標等）	761 件	816 件	107.2%
人材育成	92 件	179 件	194.6%
研究開発・新事業展開	498 件	591 件	118.7%
販路開拓	541 件	487 件	90.0%
専門家派遣	120 件	134 件	110.7%
研究会推進	18 件	192 件	1,066.3%
その他	608 件	911 件	149.8%
内部業務・調整	51 件	33 件	64.7%
活動総件数	2,907 件	3,563 件	122.6%

(2) 専門家派遣事業

分 野	平成 30 年度※1		令和元年度※2	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経 営	15 社	63 回	14 社	66 回
技 術	1 社	5 回	1 社	5 回
知 財	一社	一回	1 社	2 回
合 計	16 社	68 回	16 社	73 回

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
支援企業数（専門家派遣事業）	16 社	16 社	25 社

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

3 企業訪問事業

決算額 1,491,026 円（予算額 1,614 千円） <浜松市受託>

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等（以下「中小企業者等」という。）を積極的に訪問し、経営、技術、人材、情報、知財等の課題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、企業の状況・ニーズを把握し、適切な助言や施策の紹介・活用の支援および企業情報の発信支援を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【年度総括】

令和元年度は、財団コーディネーター及びプロパースタッフが 1,042 件の企業訪問を行い、財団支援メニューを活用した新規企業も顧客に加わり、昨年度以上に財団の PR につながったと考察する。また、マッチング支援により注力して企業訪問を実施することで 83 件のマッチングに繋がった。

令和 2 年度も企業訪問を積極的に実施することで、地域企業のニーズやシーズを把握し、浜松地域の製造業の現状や特長をデータベース化するとともに、マッチング支援や地域企業にとって役立つ新たな支援メニューの開発につなげる。

【実施内容】

専ら企業訪問を企画して先導するプロパースタッフを選任し、浜松地域の中小企業等に対して、コーディネーター等を中心としたプロジェクトチームによるきめ細かい企業訪問（御用聞き）を実施した。訪問を通じて、企業が抱える課題の把握と解決に取り組むとともに、支援ニーズの聞き取りにより、地域産業の現状を見える化し、施策立案につなげた。企業訪問は、初回はコーディネーター単独での訪問により「御用聞き」を実施し、訪問企業の状況に応じてコーディネーターの目利きにより地域の産業支援機関と連携したチームにて再訪問を行った。また、飛び込み営業による顧客開拓や産業支援機関・金融機関への巡回を通じた情報共有や連携支援に努めた。さらに、訪問先は今後の地域産業を牽引する中堅企業をはじめ、成長分野に挑戦している企業や新事業展開に取り組む企業等をターゲットとし、隠れた実力企業の掘り起こしや新規顧客の開拓を行った。

(1)「浜松市新産業創出事業費補助金」交付企業に対するアドバイス

「浜松市新産業創出事業費補助金」は、浜松市において戦略的に支援すべきと位置付けている成長6分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）について新技術・新製品等の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助することで事業化の実現を促し、浜松経済を牽引する成長産業の創出につなげていくことを目的としている補助事業である。

当財団は、当該補助金に採択された中小企業に対して、研究開発に関する技術的な支援はもとより、事業化された新技術・新製品等の販路開拓まで、浜松市と一体のフォロー体制で支援を行った。

◎令和元年度「浜松市新産業創出事業費補助金」

採択企業数：次世代輸送用機器 4 社、健康・医療 5 社、新農業 1 社、光・電子 4 社、環境・エネルギー 2 社、デジタルネットワーク・コンテンツ 4 社

交付決定額：115,535,520 円（20 社）

交付確定額：100,508,543 円（20 社）

<採択企業一覧>

	分野	補助枠	事業者名
1	次世代輸送用機器	製品開発	(株)テクニカルサポート（浜松市北区）
2		研究開発	(株)イハラ製作所（浜松市浜北区）
3			(株)モリロボ（浜松市中区）
4			(株)山田（浜松市中区）
5	健康・医療	製品開発	ソフトブレン工業(株)（浜松市西区）
6			(株)システム・ジェー・ピー（浜松市東区）
7			ライト・イア(同)（浜松市中区）
8			ショーダテクトロン(株)（浜松市西区）
9			橋本エンジニアリング(株)（浜松市浜北区）
10	新農業	製品開発	(株)浜松パルス（浜松市南区）
11	光・電子	製品開発	(株)ナノプロセス（浜松市西区）
12			大石測器(株)（浜松市東区）
13			(株)ゾディアック（浜松市中区）
14		研究開発	QUICCO SOUND(株)（浜松市北区）
15	環境・エネルギー	研究開発	(株)ティーアールシー高田（浜松市西区）
16		製品開発	(株)浜松ベジタブル（浜松市南区）
17	デジタルネットワーク・コンテンツ	製品開発	ニッコウプロセス(株)（浜松市北区）
18			(株)NOKIOO（浜松市東区）
19			ロボ・スタディ(株)（浜松市中区）
20		研究開発	We will accounting associates(株)（浜松市中区）

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
企業訪問件数	1,034 件	1,042 件	1,000 件
新規企業数	150 社	117 社	200 社

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

4 研究会推進事業

決算額 ― 千円（予算額 ― 千円） <事務局受託>
※研究会費の2割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各種研究会の事務局として、総会や幹事会、講演会等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【年度総括】

令和元年度の研究会推進事業は、平成30年度と同様7つの研究会事業の事務局として、企画運営支援を実施した。平成31年4月から令和元年7月にかけて各研究会の総会を開催し、平成30年度事業（講演会や視察会など）実績を会員企業に報告するとともに、令和元年度の事業計画について承認を得た。この事業計画に沿って、各研究会事業の運営サポートを随時実施し、一部の研究会については、他研究会や金融機関・大学などの支援機関と連携した事業も実施した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮しながら、総会等の開催時期や事業計画を各幹事会で検討する。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の7つの研究会において、財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ（会員数：33社）

<総会>

開催日：平成31年4月9日（火）

会 場：グランドホテル浜松

出席者：会員23社33名

<事業内容>

講演会：2回（うち公開1回）▶2回実施

視察会：2回 ▶2回実施

情報交換会等：8回 ▶8回実施

イ 浜松技術交流プラザ82（会員数：16社）

<総会>

開催日：平成31年4月16日（火）

会 場：呉竹荘

出席者：会員10社19名

<事業内容>

講演会：3回（公開3回、うち他研究会と合同1回）▶3回実施

視察会：1回 ▶中止

ウ 都田アソシエイツ（会員数：53社）

<総会>

開催日：令和元年7月11日（木）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

出席者：会員25社31名

<事業内容>

講演会：2回（公開2回、うち他研究会と合同1回）▶ 2回実施

視察会：5回（会員企業2回、他研究会と合同3回）▶ 4回実施

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC研究委員会（会員数：16社）

<総会>

開催日：令和元年6月28日（金）

会 場：オークラアクトシティホテル浜松

出席者：会員8社10名

<事業内容>

講演会：3回（公開2回）▶ 2回実施

視察会：1回 ▶ 1回実施

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：24社）

<総会>

開催日：令和元年8月9日（金）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

出席者：会員13社15名

<事業内容>

講演会：2回（公開2回、うち他研究会と合同1回）▶ 2回実施

視察会：6回（会員企業2回、他研究会と合同4回）▶ 4回実施

ウ 先端精密技術研究会（会員数：法人40社、個人21名）

<総会>

開催日：令和元年5月15日（水）

会 場：呉竹荘

出席者：会員36社38名（個人会員含む）

<事業内容>

講演会：3回（公開3回）▶ 1回実施

視察会：6回（会員企業3回、他研究会と合同3回）▶ 3回実施

エ 次世代設計・製造構造研究会（会員数：法人23社、個人2名、学校3校）

<総会>

開催日：令和元年5月10日（金）

会 場：オークラアクトシティホテル浜松

出席者：会員23社54名

<事業内容>

講演会：4回 ▶ 4回実施

懇談会：4回 ▶ 4回実施

3【興す】創業・新事業展開支援

5 創業・新事業展開支援事業

決算額 6,380,000 円（予算額 6,772 千円） <自主財源>

【目的】

浜松地域の中心産業であるものづくり産業はもとより、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携し、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。

【年度総括】

創業支援総合窓口として浜松市・浜松商工会議所と協同で開設した「はままつ起業家カフェ」と連携し、浜松地域の創業希望者のサポートを実施した。また、起業家カフェをより気軽に立ち寄れる交流スペースとして有効利用し、情報収集や創業希望者同士の交流の場として積極的に活用した。令和元年度は、創業支援コーディネーターが 992 名の相談者に対して 1,201 件の相談に対応し、114 名の新規起業家が浜松地域に生まれた。

令和 2 年度も、起業家カフェを中心として、浜松地域が創業しやすい地域となるよう環境づくりを行う。

【実施内容】

浜松地域の産業基盤である製造業（ソフトウェア業含む）を新たに開業する個人又は開業後 5 年未満の中小企業者に対して、創業時等に係る経費の一部を助成し、浜松市の産業イノベーション構想につながる製造業が起業しやすい環境を整えるとともに、製造業におけるベンチャー企業の発展につなげた。また、新たに創業した個人や事業者に対して、財団及び起業家カフェ、地域支援機関（行政・地域金融機関・商工会など）の創業に関する取り組みを連動させ、地域一丸となり、起業家やベンチャー企業のための成長支援を幅広くサポートした。

<はままつ起業家カフェ実績>

(1) 相談事業

相談者数：992 名（実数） ※平成 30 年度実績：988 名

相談件数：1,201 件（延べ数） ※平成 30 年度実績：1,204 件

新規創業者数：114 名（男性 76 名、女性 38 名） ※平成 30 年度実績：95 名

※製造業 14 名、建設業 8 名、サービス業 41 名、飲食業 21 名、医療・福祉業 8 名、情報通信業 2 名、卸・小売業 12 名、教育・学習支援 5 名、電気・ガス・熱供給・水道業 1 名、不動産業 2 名

特定創業支援事業申請：73 名 ※平成 30 年度実績：64 名

事業承継相談者数 7 名（実数）

(2) 補助金事業

ア ものづくり創業支援補助金（市予算 3,000 千円 ※概ね 3 件）

目 的：浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対し、開業に際し必要となる設備費等の経費の一部を助成

受付期間：平成 31 年 4 月 1 日（月）～令和 2 年 3 月 16 日（月） ※随時

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 1,000 千円

対象経費：補助事業のために使用される単価 30 万円以上の機械装置、工具
器具、分析装置、専用ソフトウェアの購入・設置、製作費用など

申請件数：2 件

採択件数：2 件

交付決定額：2,742,000 円（5 件）

交付確定額：2,742,000 円（5 件）

イ 会社設立支援補助金（市予算 2,000 千円 ※概ね 20 件）

目 的：初めて会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）を設立
する際に、会社設立までに要する経費の一部を助成

受付期間：会社設立登記完了後 60 日以内か令和 2 年 3 月 31 日（火）のど
ちらか早い日まで

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 100 千円

対象経費：定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用、会社設立に要する
手続きを司法書士等に依頼した場合の報酬等の費用など

申請件数：22 件

採択件数：22 件

交付決定額：2,000,000 円（22 件）

交付確定額：2,000,000 円（22 件）

(3) 創業・新事業展開セミナー

開催日：令和元年 7 月 28 日（日）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

講 師：法政大学大学院 政策創造研究科 教授 石山 恒貴 氏

データバースト(株)（浜松市東区） 代表取締役 玉井 和司 氏

染め紡ぐ浜松（浜松市） 代表 廣上 明子 氏

内 容：講演／副業解禁、働き方改革 etc… キャリアの多様化が進む時代に
「起業」を考える（基調講演＋先輩起業家の体験談）

パネルディスカッション

受講料：無料

参加者：81 名（定員：60 名）

(4) 起業サロン

開催日：令和元年 9 月 3 日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：山ノ舎旅社（浜松市天竜区） 代表 中谷 明史 氏

（同）ことゆく社（浜松市南区） 代表 和久田 麻衣 氏

内 容：起業体験談「先輩起業家に聴く！」（2 名）

交流会

受講料：無料

参加者：23 名（定員：20 名）

開催日：令和元年 12 月 3 日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：(株)はなか（浜松市東区） 代表取締役 宮武 弓佳 氏

Smiley Bell（浜松市浜北区） 代表 河合 陽子 氏

内 容：起業体験談「先輩起業家に聴く！」（2 名）

交流会

受講料：無料

参加者：20名（定員：24名）

(5) 起業実践サロン

開催日：令和元年11月23日（土）、12月7日（土）、12月21日（土）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：光産業創成大学院大学 教授 増田 靖 氏

光産業創成大学院大学 教授 藤田 和久 氏

埼玉学園大学 准教授 柴田 仁夫 氏

立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 深見 嘉明 氏

はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 村木 則予 氏

製造業起業家

内 容：ものづくり・ITで起業！（全3回）

共 催：光産業創成大学院大学

受講料：無料

参加者：7名（定員12名）

開催日：令和2年1月16日（木）、23日（木）、30日（木）、2月6日（木）、
13日（木）、20日（木）、3月5日（木）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士）

村木 則予 氏、杉本 光生 氏、荒井 豊 氏

にじいろはーとフォト（浜松市中区） 代表 河村 麻梨子 氏

内 容：ビジネスプラン作成講座（全7回）

マーケティング、会計基礎 など

受講料：無料

参加者：17名（定員：15名）

(6) 特別講座

開催日：令和元年11月12日（火）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：㈱ドルフィンキッズプロダクション JINEN GROUP（浜松市中区）

代表取締役 秋元 健一 氏

㈲ひぐち商会（浜松市中区） 専務取締役 山本 賢 氏

内 容：飲食店の始め方

受講料：無料

参加者：25名（定員：30名）

(7) 起業家交流会

開催日：令和元年10月29日（火）

会場：グランドホテル浜松

講師：フルーツパーラーTASTAS（浜松市中区） 代表 柘植 亨将 氏

zakka+fairtrade 晴天（浜松市東区） 代表 三室 千菜美 氏

㈱エグゼス（浜松市中区） 代表取締役 柿澤 明孝 氏

ミモザショコラトリー（浜松市北区） 代表 渡邊 栞 氏

内 容：起業家によるプレゼンテーション（4名）

起業家交流会

PR ブース：10 社（㈱エグゼス（浜松市中区）、TUMUGU Design Engineering（浜松市中区）、（同）イーラ（浜松市中区）、茶ばしら（浜松市中区）、ミモザショコラトリー（浜松市北区）、晴天（浜松市東区）、にじいろはーとフォト（浜松市中区）、フィオレ似顔絵デザイン（浜松市西区）、辻村縫製㈱（浜松市西区）、38 空間（浜松市中区））

参加料：500 円

参加者：54 名（定員：70 名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
相談件数	1,204 件	1,201 件	800 件
起業家件数	95 件	114 件	50 件

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

6 債務保証事業

決算額 1,740,166 円（予算額 1,900 千円）

＜財団自主＞

【目的】

地域中小企業が行う技術、新製品の研究開発に係る資金調達の円滑化を図り、研究開発型企業の育成を促進する。

【年度総括】

中小企業が行う新技術、新製品開発の研究開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して債務保証する本制度を引き続き財団ホームページ等で広く周知した。

【実施内容】

新技術・新製品の開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して、債務保証（債務保証期間 8 年以内、保証債務残高 最大 3 千万円、無担保）を行った。

（1）債務保証制度内容

保証限度額：一企業 30,000 千円以内

利 率：年 1.5%（静岡県制度融資適用の場合）

保証期間：8 年以内

保証料率：0.9%保証限度額

（2）新規債務保証

令和元年度：新規債務保証 0 件

（3）債務保証残高

令和元年度：債務保証残高 0 円

（4）求償権の回収

対象企業 2 社のうち 1 社返済中（年間回収額 120 千円）

【成果指標】

(単位:千円)

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
求償権の回収額	420 千円 (502 千円)	55 千円 (110 千円)	60 千円 (120 千円)

※1：平成 30 年度決算時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

※（）内は日本立地センター分を含めた回収額

4【活かす】知財総合支援

7 知的財産活用推進事業

決算額 940,134 円（予算額 945 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

企業活動において特許、商標等の知的財産権の重要性は益々高まっていることから、知財活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進するために、特許、商標等の調査、出願・権利取得、権利活用等の知財に関する各種相談への対応、支援を行う。また、中小企業等の知財に関わる人材の育成支援を行う。

【年度総括】

令和元年度の相談目標件数は、前年度比 50 件増の 750 件だったが、実績は目標を 66 件（9%）上回る 816 件だった。このうち、新規相談者からの相談件数は 136 件（17%）あり、財団の経営コーディネーター、金融機関、商工会などからの支援要請による新規相談の他、中小企業の知財意識の向上により新規の相談に至ったケースも多かった。相談内容としては、特許、商標等の出願に関する相談とともに他社の知的財産権対策に関する相談（実際に侵害警告を受けた案件もある）が増えており、知財トラブルに対する意識が高まってきていることがうかがえた。

また、知財基礎講習会や知的財産セミナーを開催し、中小企業等の知財担当者や技術者の知財に関する基礎的知識の習得、知財意識の向上などの知財人材の育成を図った。さらに、地域の工業高校からの要請を受けた出前知財講義や当財団が行っている自社製品スクールでの知財講習の実施により、知財の普及・啓発活動にも取り組んだ。

【実施内容】

(1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化の両面から適切な知財支援を行った。支援においては、当財団知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当（特許庁事業）とが連携し、必要に応じて特許庁事業の専門家派遣制度（弁理士・弁護士やデザイン、ブランドの専門家を派遣）を活用するとともに、当財団の技術・経営コーディネーターとも連携して活動した。この場合、周辺地域の商工会、商工会議所、金融機関などと連携した企業訪問等を実施し、掘り起こしを行うことで新規の知財相談企業数を増やすほか、知財相談等を通じて、企業等に出向いての知財講習会を実施した。

また、特許流通・知財マッチングに関する案件については、静岡県産業振興財団や静岡県特許流通アドバイザーと連携して対応した。

(2) 知財講演会・講習会の開催（市受託）

ア 知財関連法、知財関連判例、中小企業の知財戦略・知財活用等に関する講演会を開催した。

・特許庁、（独法）工業所有権情報・研修館、関東経済産業局主催

※当財団は協力

講演会①

開催日：令和元年 9 月 11 日（水）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講 師：特許庁 産業財産権専門官

内 容：令和元年「知的財産権制度説明会（初心者向け）」

受講料：無料

参加者：85名（定員：100名）

・特許庁、関東経済産業局、浜松市、当財団との共催事業

※実施機関：（一社）発明推進協会

講演会② タグボートセミナー

開催日：令和元年10月30日（水）

会 場：アクトシティ浜松 コングレスセンター

講 師：ユアサハラ法律特許事務所

弁護士（元知財高裁所長） 飯村 敏明 氏

内 容：日本の知的財産権の実情

～知的財産権相互の関係等を中心として～

受講料：無料

参加者：43名（定員：40名）

講演会③ 著作権セミナー

開催日：令和元年11月28日（木）

会 場：アクトシティ浜松 コングレスセンター

講 師：さくら国際特許法律事務所 弁護士・弁理士 三木 浩太郎 氏

内 容：著作権法の概要、著作権事件の紹介、

ネット・SNSにまつわる各種トラブル

受講料：無料

参加者：54名（定員：60名）

講演会④ タグボートセミナー

開催日：令和2年2月6日（木）

会 場：アクトシティ浜松 コングレスセンター

講 師：明和総合特許デザイン事務所 代表 弁理士 藤掛 宗則 氏

内 容：会社を元気にするデザイン・意匠権活用術

～ものづくり企業におけるデザイン開発とその成果の保護・活
用のポイント～

受講料：無料

参加者：36名（定員：40名）

イ 中小企業等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会（全7回
コース）を開催した。

・初心者向け知財基礎講習会 ※はままつ知財研究会との共催事業

開催日：令和元年7月26日（金）～令和2年2月28日（金）

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

内 容：下記のとおり

受講料：はままつ知財研究会会員／無料

非会員／市内1,000円、市外2,000円

参加者：19名（定員：20名）

(講座内容)

開催日	内 容	会 場
7 月 26 日 (金)	(1) 知的財産権制度の概要 (2) 特許制度と特許法の概要①	浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
8 月 30 日 (金)	(3) 特許制度と特許法の概要② (4) 実用新案制度の概要 (5) 特許権の事例紹介	アクトシティ浜松コンgresセンター
9 月 27 日 (金)	(6) 特許権の権利範囲と権利解釈 (7) 特許権の利用関係	浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
10 月 25 日 (金)	(8) 意匠制度の概要 (9) 商標制度の概要 (10) 特許情報調査と特許情報の活用	ポリテクカレッジ浜松
11 月 29 日 (金)	(11) 研究開発成果の保護について	浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
1 月 31 日 (金)	(12) 著作権制度の概要 (13) 不正競争防止法 (14) 知的財産関連契約	浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
2 月 28 日 (金)	(15) 企業における知財活動と知財戦略について (16) まとめ	浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

ウ 出前知財講習会

・知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を開催した。

①開催日：令和元年 9 月 13 日 (金)

会 場：静岡県立浜松工業高等学校

対象者：デザイン科 1 年生

内 容：具体的事例に基づくデザイン活動に関係する知的財産権について

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：40 名 (生徒 40 名、教師 3 名)

②第 7 期自社製品スクール

開催日：令和元年 8 月 8 日 (木)

会 場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

対象者：スクール受講者

内 容：知財基礎セミナー

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：4 名

③第 8 期自社製品スクール

開催日：令和元年 9 月 25 日 (水)

会 場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

対象者：スクール受講者

内 容：知財基礎セミナー

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：3 名

エ 知財サロン塾 ※はままつ知財研究会との共催事業

・企業の知財担当者が抱えている課題、悩み等について、意見・情報交換、ディ

スカッションする場を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 会議室

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

受講料：無料

参加者：5 社 5 名（定員：6 名）

開催日	ディスカッションテーマ
4 月 19 日（金）	知財担当者の育成、特許管理など
6 月 7 日（金）	特許事務所の選び方（良い弁理士とは）、特許調査など
8 月 2 日（金）	発明者の認定、業務委託に伴い発生した知財の扱いなど
10 月 11 日（金）	特許等の海外出願戦略など
12 月 6 日（金）	知財業務の外注化、取引先等に対する開発中製品の開示問題など
2 月 14 日（金）	複数知財担当者間の役割・業務分担と情報の共有化、技術者の活性化・モチベーション改善など

【成果指標】

項目		実績		指標
		平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
①相談対応件数		761 件	816 件	750 件
②企業訪問件数		101 件	98 件	85 件
③専門家派遣件数		71 件	95 件	50 件
④出願支援件数	特許	11 件	12 件	
	実用新案	1 件	2 件	
	意匠	4 件	1 件	
	商標	24 件	45 件	
⑤講演会・講習会開催回数		14 回	14 回	10 回以上
⑥出前知財講習会開催回数		1 回	3 回	2 回
⑦参加者満足度		81%	90%	－%

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む

※指標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

8 はままつ知財研究会連携事業

決算額 一千円（予算額 一千円） <事務局受託>

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動等の各種事業を事務局として支援するとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と知財に関わる人材育成に取り組む。

【年度総括】

令和元年度の当初計画どおり、令和元年 6 月には総会および総会後の知財公開講演会を開催するとともに、会員からの要望により「インド知財セミナー」を開催した。また、知財問題研究部会（IP 部会）の活動も会員企業の知財担当者、弁理士などが幹事、委員として自ら企画・運営しており、知財活動の現場に即したテーマで活

動できた。加えて、知財経営研究部会（CIPO 部会）として本年度から新たに「知財経営塾」を開催するなど、会員にとって有益な活動ができたと考察する。

なお、令和 2 年 3 月に予定されていた幹事会、第 81 回 IP 部会はコロナウィルス感染症の影響により延期となった。

令和 2 年度も引き続き、はままつ知財研究会と連携し、地域企業の知財に関わる人材育成等に取り組む。

【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートした。また、当財団の知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動の向上を図るとともに、知財に携わる人材のレベルアップを図った。

具体的な活動として、同研究会が開催する講演会や知財問題研究部会等の開催をサポートするとともに、当財団と同研究会の共催にて浜松市委託事業の知財講演会、知財講習会を開催した。

(1) 総会

開催日：令和元年 6 月 18 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

内 容：公開講演会「ヤマハ(株)における知的財産活動について」

講 師：ヤマハ(株) 知的財産部長 小杉 直弘 氏

参加者：60 名（定員：50 名）

(2) 講演会①

開催日：令和元年 6 月 18 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

内 容：公開講演会「ヤマハ(株)における知的財産活動について」

講 師：ヤマハ(株) 知的財産部長 小杉 直弘 氏

参加者：60 名（定員：50 名）

講演会②

開催日：令和元年 8 月 26 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

内 容：インド知財セミナー

～インドの最近の知財状況を知ってインドの知財戦略を考えよう！～

講 師：ジェトロ・ニューデリー事務所 知的財産権部長 武井 健浩 氏

参加者：64 名（定員：60 名）

(3) 知財問題研究部会（IP 部会）

開催回	開催日	内 容（講師）
第 76 回	5 月 10 日（金）	社内の知財教育の取組みを実例から学ぶ 発表者：会員企業 5 社（(株)ソフミック（浜松市東区）、(株)クラベ（浜松市南区）、ヤマハ(株)（浜松市中区）、(株)河合楽器製作所（浜松市中区）、フロイント産業(株)（東京都新宿区））
第 77 回	7 月 5 日（金）	平成・令和の法改正を一気に理解！ 講師：響国際特許事務所中部ブランチ（愛知県豊橋市） 弁理士 西川 隆記 氏

第 78 回	9 月 6 日 (金)	特許庁の「判定制度」について 講師：オフィス野村（愛知県豊橋市） 代表 野村 正巳 氏
第 79 回	11 月 1 日 (金)	視察研究会との合同開催（静岡理工科大学研究室視察、産学連携等に関する意見交換会）
第 80 回	1 月 10 日 (金)	知財リスクマネジメント（実例に基づいたケーススタディによるグループワーク） 講師：ディスプロ(株)（東京都練馬区） 代表取締役 桑原 良弘 氏
第 81 回	3 月 6 日 (金)	延期

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター、コンgresセンター ほか
定 員：各回 30 名

(4) 知財経営研究部会（CIPO 部会）

企業の経営者、知財部門責任者が抱えている課題、悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場として「知財経営塾」を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 会議室

進 行：CIPO 部会長（同研究会副会長）、知財コーディネーター 石井 勉

受講料：無料

参加者：3 社 3 名（定員：6 名）

(5) 見学会

開催日：令和元年 11 月 1 日（金）

会 場：静岡理工科大学 研究室

内 容：高橋研究室「知的電子制御システム研究」、佐藤研究室「エア・モビリティ研究」などを見学、見学終了後に産学連携に関する意見交換を実施

参加費：無料

参加者：16 名（定員 20 名）

9 特許等出願支援補助事業

決算額 3,076,004 円（予算額 4,003 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松地域の中小企業の特許等の出願を促進することにより、中小企業の産業財産権を活用した事業展開を支援し、浜松地域の産業振興を図った。

【年度総括】

令和元年度は、補助金獲得セミナーの開催や企業訪問等により、特許等出願費補助金の積極的な周知を図った。この結果、本年度の目標である国内 10 件、海外 5 件に対し、目標件数以上の国内 15 件、海外 5 件の申請があり、審査会を経て申請すべてを採択した。また、中小企業の特許出願意識の向上により、国内特許出願に対する採択が目標件数を上回った。さらに、海外については、特許出願 2 件、商標出願 3 件と商標出願が多かった、これは、昨今の海外での模倣品問題、不正商標権取得問題を受けてのことと考える。なお、海外の商標出願は、特許出願に比べてその費用が定額で、補助上限額 50 万円を下回るため、930 千円ほど予算残が発生した。

令和 2 年度も地域中小企業の特許出願に対する啓発事業を積極的に実施し、中小企業の知的財産活用を促進する。

【実施内容】

浜松市内の中小企業、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願および海外における特許出願、実用新案出願、意匠出願、商標出願に対する出願費用の補助を行った。また、国内出願補助金と海外出願補助金の予算を一本化し、補助金申請状況に合わせて柔軟に対応した。さらに、補助金採択企業に対しては、出願後のフォローアップを含めて必要な支援を行った。

(1) 特許等出願費補助金

公募期間：[1次] 平成31年4月15日（月）～令和元年5月31日（金）
 ：[2次] 令和元年8月19日（月）～令和元年9月20日（金）
 ：[3次] 令和元年10月21日（月）～令和2年1月31日（金）

ア 国内出願補助金（予算配分目安 1,500 千円）

対象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補助率：1/2 以内

補助金額：上限 150 千円

対象経費：出願手数料、弁理士費用

イ 海外出願補助金（予算配分目安 2,500 千円）

対象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補助率：1/2 以内

補助額：上限 500 千円

対象経費：外国特許庁への出願手数料、国内・現地代理人費用、翻訳費用
 先行技術調査費用など

申請件数：[1次] 国内 6 件、海外 2 件

[2次] 国内 6 件、海外 1 件

[3次] 国内 3 件、海外 2 件

採択件数：[1次] 国内 5 件、海外 2 件

[2次] 国内 5 件、海外 1 件

[3次] 国内 3 件、海外 2 件

交付決定額：[1次] 国内 707,000 円（5 件）、海外 406,455 円（2 件）

[2次] 国内 620,500 円（5 件）、海外 310,000 円（1 件）

[3次] 国内 445,950 円（3 件）、海外 638,890 円（2 件）

交付確定額：[1次] 国内 707,000 円（5 件）、海外 393,327 円（2 件）

[2次] 国内 619,581 円（5 件）、海外 250,231 円（1 件）

[3次] 国内 420,050 円（3 件）、海外 681,754 円（2 件）

<国内出願補助金>

（単位:円）

1次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	リンクウィズ(株) (浜松市東区)	特許	ロボット制御ソフトウェア	150,000
2	(株)エフノート (浜松市北区)	特許	電子ハイハットシンバルの新 規技術開発	150,000

3	(株)シェルタージャパン (浜松市東区)	特許	地下避難空間の内部温度の上昇を抑制する耐火シェルター	107,000
4	(有)クロマニヨン (浜松市中区)	特許	人口知能によって生成された仮想人物との対話システム	150,000
5	(株)ティーエス (浜松市東区)	特許	台車位置決めシステム	150,000
計				707,000

2次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	イシカワボディ (浜松市北区)	意匠	180SX・FRP ワイドフェンダー開発事業	19,581
2	(株)E-Pro (浜松市東区)	特許	健康器具	150,000
3	(有)イシガミ (浜松市中区)	実用	吊り下げ式伸縮扉	150,000
4	(株)サイト (浜松市西区)	特許	銅板洗浄装置	150,000
5	(株)丸文製作所 (浜松市中区)	特許	土壌の蒸気消毒用蒸気噴出ホース	150,000
計				619,581

3次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	Re-CreaSor Lab (浜松市中区)	特許	新センサーの研究・開発・製造・販売	150,000
2	(株)魚磯 (浜松市浜北区)	特許	仕出し弁当・惣菜製造販売業	124,100
3	(株)はなか (浜松市東区)	特許	体験型イベントを組み込んだ売上支援システム	145,950
計				420,050

<海外出願補助金>

(単位:円)

1次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)タイムリンク (浜松市中区)	特許	背負い鞆用救命胴体及び背負い鞆用救命胴体の使用方法	201,539
2	(株)リビナハマニ (浜松市西区)	商標	SecondStage	191,788
計				393,327

2次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	MATCHA KAORI JAPAN(株) (浜松市中区)	商標	MATCHA KAORI JAPAN	250,231
計				250,231

3 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	ゴルフスクール・ティ ーケイ 金井隆尚 (浜松市南区)	商標	Neck Luck	181,754
2	(有)クロマニヨン (浜松市中区)	特許	物流管理システム及びコンピ ュータプログラム	500,000
計				681,754

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
特許出願件数（国内）	12 件	13 件	10 件

項目	出願総数	実績	
特許出願登録件数（国内）※3	67 件	25 件	

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

※3：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成 25 年度からの累計

5【学ぶ】人材育成支援

10 製造中核人材育成事業

決算額 2,533,603 円（予算額 2,923 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程等を見通した現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

【年度総括】

令和元年度の製造中核人材育成講座は、当講座運営委員会での意見を参考に、座学、現場見学、現場実習をバランスよく組み合わせたカリキュラムを策定し、事業をスタートした。講座には 30 名の募集定員を上回る 32 社 36 名の申込があったが、受け入れ先企業における安全面への配慮、受講生の見学のしやすさ等を考慮して定員を厳守することとし、抽選により 30 名の受講者を決定し、このうち 29 名が卒業することができ、ほぼ受講者全員から満足との評価を得た。なお、本講座受講後の活動状況や各社における課題等のヒアリングを目的として、22 社受講企業へ訪問を実施した。

また、令和 2 年 2 月にはフォローアップ講座として、中小企業のロボット活用現場見学会を実施し、各社におけるロボット活用の必要性和ヒントを得る機会とした。

令和 2 年度も継続的に受講企業への訪問を実施し、財団事業の紹介ならびに各社における課題の抽出や対応など、総合的なフォローアップを行う。

【実施内容】

浜松地域の輸送用機器産業を中心とした基盤製造技術の座学と現場見学や現場実習をセットにしたスタイルで講座を開催した。

ア 講座

開催日：令和元年 5 月 30 日（木）～ 11 月 14 日（木）（全 24 回）

会 場：グランドホテル浜松、スズキ歴史館（浜松市南区）、愛知製鋼(株) 知多工場（愛知県東海市）、ヤマハ発動機(株)（磐田市）、(株)木村鋳造所 御前崎工場（御前崎市）、浜松商工会議所会館、スズキ(株) 湖西工場（湖西市）、浜松工業技術支援センター（浜松市北区）、イオインダストリー(株)（湖西市）、西誠(株)（浜松市西区）、(株)豊田自動織機 高浜工場（愛知県高浜市）、(株)エム・エス・ケー（浜松市浜北区）、(株)オーミ（磐田市）、神谷理研(株) 西テクノ工場（浜松市西区）、(株)丸山コーポレーション（浜松市南区）、ポリテクカレッジ浜松（浜松市南区）、浜松テクノカレッジ（浜松市東区）、(株)ユニバンス（湖西市）、ハマニ化成(株)（浜松市西区）、トクラス(株)（浜松市西区）、浜松熱処理工業(株) 細江工場（浜松市南区）、ホテルクラウンパレス浜松

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者：30 社 30 名（定員：30 名、申込：36 名）

[県西部地域] 29 社 29 名、[県西部地域外] 1 社 1 名

・令和元年度「講座内容」

開催日	内 容	講 師
5月30日(木)	開講式	
	講演①「スズキのものづくりと海外進出」	スズキ(株) 第二生産技術部 部長 島 邦治 氏
	講演②「『絶対理論値』を実現するモノ創り現場力」	ヤマハ発動機(株) 生産革新技术部 部長 藤田 晴之 氏
	交流会(受講生+上司の方)	
6月5日(水)	輸送機器 ものづくり概論	スズキ(株) 技術管理部 技術教育課長 宮井 研二 氏
6月11日(火)	金型・材料概論	愛知製鋼(株) 知多工場
	製鉄現場・鍛造工場見学(電炉)	
6月20日(木)	鑄造概論	ヤマハ発動機(株) 製造技術統括部 PT 技術部 第1製造技術グループ 鑄造技術係 奥出 智重 氏
	鑄造工場見学	
6月27日(木)	5S 概論	(株)木村鑄造所 取締役 御前崎工場長 梶原 道哉 氏
	工場見学	
7月4日(木)	現場マネージャーの心得 (講義)	関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
	現場マネージャーの心得 (グループディスカッション)	
7月9日(火)	板材成形概論	スズキ(株) 第二生産技術部 第三車 体課 専門職 飯盛 敦宏 氏
	輸送用機器完成車工程 工場 見学	
	受講生交流会	
7月18日(木)	鍛造概論	浜松工業技術支援センター 光科 鷲坂 芳弘 氏
	組織概論	浜松工業技術支援センター 材料科 科長 伊藤 芳典 氏
	設備見学	
7月25日(木)	樹脂成形概論	イオインダストリー(株) 生産グループ 生産技術部 部長 緑川 広貴 氏
	樹脂成形工場見学	
7月31日(水)	切削概論	ヤマハ発動機(株) パワートレイン 企画統括部 コンポーネント開発 部 電動技術グループ グループ リーダー 酒井 健司 氏
	切削現場見学	西誠(株) 代表取締役社長 西山 恭矢 氏

8月7日(水)	トヨタ式現場改善・人材育成 現場見学	(株)豊田自動織機 高浜工場
8月21日(水)	3Dプリンタ概論・現場見学	(株)エム・エス・ケー 代表取締役 松浦 譲 氏
8月28日(水)	金型概論	(株)オーミ 代表取締役 大平 晃裕 氏
	現場見学	
9月5日(木)	めっき・表面処理概論	神谷理研(株) 代表取締役専務 神谷 武彦 氏
	めっき・表面処理 現場見学	
9月12日(木)	塗装概論	ヤマハ発動機(株) 製造技術統括部 PF車体技術部 カラーリング技術 グループ 村木 宏行 氏
	塗装現場見学	(株)丸山コーポレーション 専務取締役 田村 啓太郎 氏
9月19日(木)	品質管理概論(講義)	関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
9月25日(水)	施設見学 実習1日目 フライス盤、旋盤	ポリテクカレッジ浜松
10月2日(水)	実習2日目 フライス盤、旋盤	ポリテクカレッジ浜松
10月10日(木)	溶接概論(講義) 溶接実習	(有)岩倉溶接工業所 代表取締役 岩倉 正雄 氏
10月17日(木)	見逃さない現場力(講義)	(株)ユニバンス
	訓練体験、現場見学	
10月24日(木)	自動車用品製造現場見学 (樹脂真空成型)	ハマニ化成(株) 企画室 室長 鈴木 一義 氏
10月30日(水)	トクラス(株)ものづくり現場見学	トクラスプロダクツ(株) 総務部 部長 齋藤 孝弘 氏
	特別講義：独創力はどうすれば身につくか？	澤井 隆治 氏 ※元トクラス(株) 取締役
11月6日(水)	熱処理概論	浜松熱処理工業(株) 技術部 部長 渡辺 浩太郎 氏
	熱処理現場見学	
11月14日(木)	修了式	(一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏
	講演	
	交流会(受講生+上司の方)	

イ 修了式

開催日：令和元年11月14日(木)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：修了式+講演会

演題／自動車業界の CASE 展望

講師／（一社）日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏

受講料：無料

参加者：30 社 36 名

ウ 令和元年度「製造中核人材育成講座」運営委員会

開催日：令和元年 12 月 17 日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：令和元年度活動報告、意見交換

参加者：スズキ(株)、ヤマハ発動機(株)、(株)ユニバンス、イオインダストリー(株)、神谷理研(株)、浜松市、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松

エ 令和元年度「製造中核人材育成講座」フォローアップ講座

開催日：令和 2 年 2 月 21 日（金）

会 場：藤本工業(株) 根洗工場（浜松市北区）

内 容：ロボット導入・活用の考え方、工場見学

参加者：11 社 11 名 ※今年度の受講者を対象とし、希望者のみ参加

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
「製造中核人材講座」受講者数	30 名	30 名	30 名
「製造中核人材講座」新規受講社数	20 社	7 社	
「製造中核人材講座」修了者数	35 名	29 名	
「製造中核人材講座」受講者満足度	96%	97%	90%以上
企業訪問数	32 社	22 社	10 社

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

1 1 現場力向上人材育成事業

決算額 1,591,560 円（予算額 2,462 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

生産リードタイム短縮や生産性向上等の現場力強化に必要な現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成する。

【年度総括】

令和元年度は「デジタル化による現場改善」をテーマとして、現場改善セミナー、改善推進スクール、デジタル中核人材育成スクールを開催したほか、現場担当者の生の声を聴くために、現場担当者座談会を開催した。講座で実習した IoT 環境を自社内で実証しようとする取り組みを始めた受講企業もあり、中小企業におけるデジタルツールを活用した現場改善のきっかけを作ることができた。

また、平成 30 年度の「改善推進スクール」受講企業と別事業参加企業の合計 2 社から現場力向上のために専門家からの指導希望があり、各 5 回の専門家派遣を実施し、順調に現場改善が進んでいる。

令和 2 年度も、受講企業への訪問を通して各社の課題等を抽出、検証することで、個々の企業の状況に合わせたフォローアップを実施する。

【実施内容】

現場力向上を目指した講座を開催した。また、講座参加企業を対象に財団 CD と外部アドバイザー派遣を実施し、伴走型の支援を行った。

(1) 現場改善の基礎講座

ア 中小企業の現場改善セミナー

開催日：令和元年 5 月 23 日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／「熟練技×ロボット×IT」による生産技術改革

講師／久野金属工業(株)（愛知県常滑市）

取締役副社長 CIO 久野 功雄 氏

演題／製造業の現場改善ステップ！強い工場の作り方

講師／関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：55 社 88 名（定員：100 名、申込：93 名）

[県西部地域] 49 社 80 名、[県西部地域外] 6 社 8 名

イ 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール（全 5 回）

開催日：令和元年 8 月 23 日（金）、8 月 30 日（金）、9 月 6 日（金）、
9 月 13 日（金）、9 月 20 日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

内 容：ものづくりの基礎・一個流し生産、現場改善の基本、ものづくりの
管理技術、コミュニケーションの重要性、これからのものづくり

受講料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者：17 社 26 名（定員：20 名、申込：26 名）

[県西部地域] 16 社 24 名、[県西部地域外] 1 社 2 名

(2) デジタルものづくり中核人材育成スクール（全 5 回）

開催日：令和元年 11 月 5 日（火）、11 月 12 日（火）、11 月 19 日（火）、
11 月 26 日（火）、12 月 3 日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

Material 工房・テクノフレキス（長野県上伊那郡）

代表 藤崎 順子 氏

内 容：デジタルエンジニアリング工技、3D 設計基礎、IoT 体験実習

参加料：[県西部地域] 25,000 円、[県西部地域外] 50,000 円

参加者：9 社 9 名（定員：10 名、申込：9 名）

[県西部地域] 9 社 9 名、[県西部地域外] 一社一名

(3) 中小製造業現場担当者座談会

開催日：令和元年 7 月 11 日（木）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：自社の問題・課題等の解決に向けたディスカッション

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 無料

参加者：4 社 4 名（定員：5 名程度、申込：5 名）

[県西部地域] 4 社 4 名、[県西部地域外] 一社一名

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
「現場改善スクール」受講者数	28 名	26 名	20 名
「現場改善スクール」受講者満足度	97%	92%	90%以上
現場改善実践企業社数 ※3	3 社	2 社	5 社
企業訪問数	5 社	7 社	8 社

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

※3：「中小ものづくり現場改善スクール」受講企業に対する指標

1 2 自社製品開発事業

決算額 1,931,674 円（予算額 2,498 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

自社または個人の強みを生かした商品の企画・開発をきっかけに、下請けからの脱却につながる商品が創出される地域にする。

【年度総括】

令和元年度の自社製品開発事業は「自社製品スクール」に加え、企画力・発想力を高める「デザイン経営実践ワークショップ」等を実施し、自社製品の開発、新規事業展開を促した。「自社製品スクール」については、成果発表会をするとともに、受講した企業の取組がメディアで紹介されたり、展示会で試作品を発表したりと、一定の成果を得ることができた。また、新たな試みとして、「スクール卒業生 工場視察」を実施し、「自社製品スクール」を受講した企業のその後の取組について学ぶとともに、「売れるがつづくマーケティングセミナー」では、今まで当財団に関わりのなかった企業の参加を得ることができた。

令和 2 年度は、中小企業の商品企画や自社製品開発の促進はもとより、経営戦略やマーケティングなど、ビジネス展開の構築や成長を推進する人材育成支援を取り入れた事業展開を実施する。

【実施内容】

自社製品に関する啓発セミナーを入口として、スクールで新しい商品を試作し、ワークショップで考え方を補強した。また、出口戦略としてのクラウドファンディングやビジネスコンテスト等に挑戦する等、参加者が継続して新しい商品を生み出していくための知識ときっかけを提供した。

(1) 0 から始める自社製品スクール

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容：チームビルディング、マイクロものづくり事例紹介、アイデア出し、自社の強み、講義（IT 活用、特許・商標調査、クラウドファンディング概論）、企画書作成、ビジネスモデル作成、プレスリリース作成、ストーリーボード作成、プレゼン資料作成、リハーサル、成果発表会開催、交流会、参加者企業訪問、試作品フォローアップ

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

ア 第7期「自社製品スクール」

＜スクール4日間＞

開催日：令和元年7月26日（金）、8月1日（木）、8月8日（木）、
8月22日（木）

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：4社4名（定員：5名、申込：5名）

〔県西部地域〕4社4名、〔県西部地域外〕一社一名

＜フォローアップ2日間＞

開催日：令和元年8月30日（金）、10月31日（木）

場 所：BEYON CHEMICA(有)（浜松市東区）、川崎工業(株)（菊川市）、(株)バ
ルバーニ（袋井市）

参加者：5社5名

〔県西部地域〕5社5名、〔県西部地域外〕一社一名

＜成果発表会＞

開催日：令和元年10月3日（木）

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：19社24名（定員20名、申込27名）

〔県西部地域〕19社24名、〔県西部地域外〕一社一名

イ 第8期「自社製品スクール」

＜スクール4日間＞

開催日：令和元年9月11日（水）、9月25日（水）、10月16日（水）、
10月23日（水）

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：3社3名（定員：5名、申込：5名）

〔県西部地域〕3社3名、〔県西部地域外〕一社一名

＜フォローアップ2日間＞

開催日：令和元年11月13日（水）、12月19日（水）

場 所：芝原工業(株)（磐田市）、エイケン工業(株)（御前崎市）、エボルテック
(株)（浜松市東区）

参加者：3社3名

〔県西部地域〕3社3名、〔県西部地域外〕一社一名

＜成果発表会＞

開催日：令和元年12月2日（木）

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：17社20名（定員20名、申込22名）

〔県西部地域〕17社20名、〔県西部地域外〕一社一名

(2) デザイン経営実践ワークショップ

開催日：令和元年6月7日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：芝浦工業大学 総合研究所 客員教授 吉久保 誠一 氏
慶應義塾大学 大学院

システムデザイン・マネジメント研究科 特任講師 富田 欣和 氏

内 容：「価値」に焦点を当てた企画力・発想力を高める講義とワークショップ

受講料：〔県西部地域〕2,000円、〔県西部地域外〕4,000円

参加者：18社24名（定員：25名、申込25名）
 [県西部地域] 16社22名、[県西部地域外] 2社2名

(3) 売れるがつづくマーケティングセミナー

開催日：令和2年2月3日（月）

会 場：呉竹荘

内 容：演題／「おいしいマーケティング」

N=1 マーケティングリサーチ 人の研究

講師／サーチクリエイション（千葉県千葉市） 代表 高垣 敦郎 氏

※元ハウス食品グループ本社㈱ お客様生活研究センター長

演題／「AVUCA World 時代のマーケティングの在り方」

世界の外部環境変化と進化するマーケティング

講師／横河電機㈱（東京都武蔵野市） 常務執行役員

マーケティング本部長 阿部 剛士 氏

座談会／「バリ取りロボットシステムを事例に」

講師／サーチクリエイション 代表 高垣 敦郎 氏

㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市）

代表 坂井 正徳 氏

㈱F.O.D（浜松市浜北区） 代表取締役 藤本 武洋 氏

静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 谷川 憲司 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：48社58名（定員：80名、申込58名）

[県西部地域] 47社57名、[県西部地域外] 1社1名

(4) スクール卒業生 工場視察

開催日：令和元年12月11日（水）

会 場：㈱鈴木スプリング製作所（浜松市北区）、藤本工業㈱（浜松市浜北区）、
 東亜エレクトロニクス㈱（浜松市北区）

内 容：工場見学、自社製品近況報告会、グループディスカッション

受講料：無料

参加者：14社15名（定員：15名、申込21名）

[県西部地域] 13社14名、[県西部地域外] 1社1名

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成30年度※1	令和元年度※2	令和元年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	5件	7件	5件
製品化・商品化件数	1件	3件	2件
企業訪問数	40社	22社	8社

※1：平成31年3月末日時点、※2：令和2年3月末日時点

6【創る】新事業開発支援

13 新産業創出支援事業

決算額 7,787,256 円（予算額 8,012 千円） <浜松市受託>

【目的】

市場ニーズに応える製品・技術開発を推進するため、企業間（ベンチャー企業等）連携をはじめ幅広い分野の情報収集やマッチング機会を創出するとともに、金融機関や浜松商工会議所等と連携し、複合的な産業構造への転換のため、成長が見込まれる分野への参入を促進させて、新たな成長産業の集積地を目指す。

【年度総括】

産業用ロボット関連事業に重点を置いた取組の3年目であった令和元年度は、ロボット人材の育成事業を主とし、ロボット操作法の学習会や導入企業の現場見学ツアーを開催し、受講者の産業用ロボットの教示に関する理解を深めた。また、地域中小企業の産業用ロボットに関連するSIerが不足しているという課題に対応するため、SIer育成講座を開催した。さらに、「光×ロボットセミナー」を開催し、画像検査や自動化の取り組みを促した。1年間の活動を通じ、産業用ロボットへの関心の高さがうかがわれた一方、産業用ロボット導入への取り組みに関しては、具体的な検討が進められない様子も散見された。

令和2年度は、これらの課題を踏まえ、産業用ロボット等の導入による生産性向上を促進させるための事業を展開する。

【実施内容】

(1) 産業用ロボット業界参入事業

時限プロジェクトとして、平成29年度から取り組んだ「産業用ロボット」をテーマとし、産業用ロボット導入による生産性向上や人手不足といった課題解決のため、将来的にもものづくりSIer化を目指す中小企業の支援を行った。

令和元年度は、啓発セミナーに加え、ロボット人材の育成講座や、近年用途が広がっている画像処理・センシング技術を利用したロボットの活用に関するセミナーを開催した。

ア 産業用ロボット現状認識セミナー

「産業用ロボットはこうして使え！～ロボットの現状とこれから～」

開催日：令和元年5月14日（火）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／少量多品種生産におけるロボットの活用法

講師／高丸工業(株)（兵庫県西宮市）

代表取締役 高丸 正 氏

演題／浜松地域のロボット活用の現状

講師／リンジーコンサルティング(株)（東京都中野区）

代表取締役 入野 康隆 氏

演題／中小企業のロボットシステム開発への取り組みについて

講師／平岡ボデー(株)（浜松市西区）

次世代企画室 室長 佐野 明俊 氏

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：70 社 104 名（定員：100 名、申込：123 名）

[市内] 46 社 70 名、[市外] 24 社 34 名

イ ロボット操作方法の学習会「産業用ロボット教示スクール」

<第1回>

開催日：令和元年8月22日（木）～令和元年9月19日（木）

講師：㈱アラキエンジニアリング（浜松市中区）、㈱日本設計工業（浜松市北区）、藤本工業㈱（浜松市浜北区）、㈱東洋鐵工所（浜松市東区）、平岡ボデー㈱（浜松市西区）

受講料：[市内] 35,000 円、[市外] 70,000 円

参加者：12 社 12 名（定員：12 名、申込：13 名）

[市内] 11 社 11 名、[市外] 1 社 1 名

・講座内容（全5回）

開催日	内容	場所
8月22日（木）	産業用ロボットの概要と安全に取り扱うための知識	財団セミナー室
8月29日（木）	産業用ロボットの教示作業の知識と操作（実習：基本編）	㈱日本設計工業
9月5日（木）	産業用ロボットの教示作業の知識と操作（実習：応用編）	㈱日本設計工業
9月12日（木）	ロボットシステムで課題を解決するためのワークショップ	財団セミナー室
9月19日（木）	ロボットシステム導入企業現場見学ツアー	平岡ボデー㈱

<第2回>

開催日：令和2年1月30日（木）～2月20日（木）

講師：㈱アラキエンジニアリング（浜松市中区）、㈱東洋鐵工所（浜松市東区）、藤本工業㈱（浜松市浜北区）

受講料：[市内] 35,000 円、[市外] 70,000 円

参加者：12 社 12 名（定員：12 名、申込：13 名）

[市内] 10 社 10 名、[市外] 2 社 2 名

・講座内容（全4回）

開催日	内容	場所
1月30日（木）	産業用ロボットの概要と安全に取り扱うための知識	㈱東洋鐵工所
2月6日（木）	産業用ロボットの教示作業の知識と操作（実習：基本編）	
2月13日（木）	産業用ロボットの教示作業の知識と操作（実習：応用編）	
2月20日（木）	ロボットシステムで課題を解決するためのワークショップ	財団セミナー室
	ロボットシステム導入企業現場見学ツアー	渥美浜北㈱

ウ SIer 育成講座「今すぐ聞きたい知りたい！実践ロボット SIer の勘所」

SIer として必要な知識、ロボット導入のための基本ステップ、ロボット SIer の勘所などを実践的に学ぶための SIer 育成講座を実施した。

開催日：令和元年 11 月 22（金）、11 月 25 日（月）
会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
講 師：(株)日本設計工業（浜松市北区）社長付特命部長 栗原 弘明 氏
 (株)ティーエス（浜松市東区）代表取締役 松原 伸幸 氏
 スターテクノ(株)（愛知県岩倉市）常務取締役 瀬川 裕史 氏
 IDEC ファクトリーソリューションズ(株)（愛知県一宮市）
 セーフティ推進室 岡田 和也 氏
内 容：産業用ロボット導入ステップと導入の勘所、リスクアセスメントの
 概要と演習
受講料：[市内] 4,000 円、[市外] 8,000 円
参加者：13 社 22 名（定員：20 名、申込：22 名）
 [市内] 11 社 17 名、[市外] 2 社 5 名

エ 光×ロボットセミナー

画像認識技術や光技術をテーマとしたロボット活用法を紹介した。

開催日：令和 2 年 2 月 27 日（木）
会 場：グランドホテル浜松
内 容：演題／外観検査自動化を目指す製造業向け
 講師／日本電気(株)（東京都港区） AI・アナリティクス事業部
 マネージャー 祐成 光樹 氏
 演題／中小企業における協働ロボットの活用
 講師／UNIVERSAL ROBOTS（東京都港区）
 チャンネルデベロップメントマネージャー 水野 信隆 氏
 事例発表／距離イメージセンサが抱える現在と未来
 講師／(株)ブルックマンテクノロジー（浜松市中区）
 代表取締役 青山 聡 氏
 事例発表／3D カメラ×ロボットを応用した 3 次元バラ積みピッキ
 ングシステム
 講師／(株)トキワシステムテクノロジーズ（愛知県名古屋市）
 代表取締役 今井 嘉之 氏
受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円
参加者：52 社 75 名（定員：70 名、申込：167 名）
 [市内] 35 社 48 名、[市外] 17 社 27 名

オ 産業用ロボット支援施策調査

地域企業のニーズ等を踏まえ、次年度以降にどのような産業用ロボットに関する支援事業を行うべきか、コンサルタント業者に委託し調査を行った。

契約期間：令和元年 6 月 10 日（月）～9 月 30 日（月）
委託内容：①産業用ロボットの現状と技術動向調査
 ②浜松地域の産業用ロボット活用の状況調査
 ③浜松地域の SIer の状況調査
 ④国内の産業用ロボットに関する支援機関の実態調査
 ⑤浜松地域ならではの産業用ロボット支援施策の提案
 ⑥産業用ロボットの支援施策の効果、産業インパクトの算出

委 託 先：リンジーコンサルティング(株)（東京都中野区）

委託金額：4,000 千円

調査結果：本調査を実施することで、産業用ロボット業界の現状・動向と浜

松地域の産業用ロボット活用状況等を把握することで、本地域に産業用ロボットに関するワンストップ窓口の設置やロボット導入支援が必要だと結論付けた。今後は、他支援機関の事業展開や地域中小企業の事業参加アンケート結果を踏まえ、次年度に向けた事業展開の構築を行い、産業用ロボットに関する支援施策を確立させていく。

カ 標準化活用支援

標準化活用支援パートナーシップ制度（経済産業省所管）を活用し、中小企業の技術開発や新市場の創出を支援した。

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
新規プロジェクト立上げ件数	一件	3 件	1 件以上
技術連携マッチング件数	1 件	10 件	5 件
訪問企業数 ※延べ件数	22 社	77 社	50 社

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

1 4 国等の研究開発事業化支援事業

決算額 221,476,256 円（予算額 239,001 千円）

<国補助>

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市などの各種競争的資金を活用して、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を支援する。

【年度総括】

令和元年度のサポイン事業については、関東経済産業局や中小機構アドバイザーと連携・調整し、申請に至った 5 件すべてが採択された。これらの新規事業に加え、平成 30 年度から継続している 2 事業についても、事業管理機関として継続して事業を推進した。また、令和 2 年度の採択に向けて、地域企業へのアドバイスや申請支援を行い、当地域の基盤技術の高度化を促進した。

令和 2 年度も事業管理機関として引き続きサポイン事業を推進するとともに、地域企業の競争的資金の獲得に向け、企業訪問などにより支援を実施する。

【実施内容】

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業） ※国補助事業

サポイン事業の事業管理機関として、「中小企業ものづくり高度化法」の認定を受けた中小企業の基盤技術の高度化を目的とする産学官による研究開発事業を支援した。

ア 新規提案申請支援

- ・補助金獲得セミナー内個別相談：9 件（その他相談 4 件）
- ・申請支援：5 件
- ・採択企業：5 件

イ 事業管理機関としての支援

補助金交付確定総額：221,476,256 円／7 件

- (ア) CFRP を用いた複雑形状部品の圧縮成形技術の開発
 研究機関：(株)キャップ（周智郡森町）、フタバ産業(株)（愛知県岡崎市）
 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター、静岡大学
 実施期間：平成 29 年度～令和元年度 <継続/3 年目>
 補助金交付確定額：16,570,888 円
- (イ) エネルギー効率改善に寄与する電解水を用いたスケール析出抑制除去装置の開発
 研究機関：イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株)（浜松市浜北区）
 静岡大学
 実施期間：平成 30 年度～令和 2 年度 <継続/2 年目>
 補助金交付確定額：28,526,250 円
- (ウ) マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発
 研究機関：(株)内山刃物（浜松市中区）、東京電機大学
 実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <新規/1 年目>
 補助金交付確定額：43,959,638 円
- (エ) 難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発
 研究機関：(株)南部製作所（浜松市浜北区）、静岡大学
 実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <新規/1 年目>
 補助金交付確定額：43,777,981 円
- (オ) 次世代自動車向け軸付はすば歯車の冷間鍛造新製法にかかる研究開発
 研究機関：金田工業(株)（浜松市中区）、静岡大学
 実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <新規/1 年目>
 補助金交付確定額：19,494,527 円
- (カ) プラント配管向け高精度減肉計測用 X 線ラインセンサの開発
 研究機関：(株)ANSeeN（浜松市中区）、静岡大学
 実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <新規/1 年目>
 補助金交付確定額：30,523,154 円
- (キ) 透明パネル積層技術を用いた医療用臓器モデル立体ディスプレイの開発
 研究機関：(株)ティデック（浜松市浜北区）、千葉大学
 実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <新規/1 年目>
 補助金交付確定額：38,623,818 円

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
「サポイン事業※3」申請件数	3 件	5 件	3 件
「サポイン事業※3」採択件数	1 件	5 件	1 件
企業訪問数	7 社	7 社	4 社

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

※3：サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）

15 競争的資金等獲得支援事業

決算額 145,141 円（予算額 150 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

国、県、市町の各種競争的資金の獲得を支援することで、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を促進する。

【年度総括】

令和元年度も主に地域製造業者に向けた「補助金獲得セミナー」の実施やサポイン事業に特化した「サポイン補助金獲得セミナー」、さらには補助金個別相談会を実施することにより、地域企業の競争的資金獲得のサポートを行った。特にサポイン事業については、当財団が事業管理機関として支援対象の候補とする案件について、審査会により内容や地域に波及する効果などを考慮し、適切な支援を行えるよう体制を整備した。令和2年度については、検討していた企業の都合により、申請なしの見込みとなった。

令和2年度も補助金獲得セミナーの実施など、地域企業に役立つ補助金制度の周知を行うとともに、行政機関や支援機関等との連携により、中小企業の新技術開発や経営基盤強化、販路開拓につながる競争的資金獲得支援を実施する。

【実施内容】

サポイン、ものづくり補助金、経営革新事業等の競争的資金獲得を目指す中小企業を支援するため、セミナーや個別相談会を開催した。

(1) ものづくり中小企業のための補助金獲得セミナー

開催日：平成31年4月17日（水）

会 場：浜松商工会議所会館

内 容：経済産業省に関わる補助金等施策制度紹介

静岡県産業振興財団の施策制度

浜松市新産業創出事業費補助金の紹介

（公財）浜松地域イノベーション推進機構の補助金等紹介

受講料：[県西部地域]無料、[県西部地域外]1,000 円

参加者：77 社 86 名（定員：80 名、申込：102 名）

[県西部地域]68 社 77 名、[県西部地域外]9 社 9 名

個別相談会：16 社

(2) ものづくり中小企業のためのサポイン補助金獲得セミナー

開催日：令和元年11月19日（火）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：①サポイン制度の説明

経済産業省 関東経済産業局 製造産業化

②サポイン申請書作成のポイント

（独）中小企業基盤整備機構 関東本部

③財団のサポイン事業への支援

財団技術コーディネーター 林 豊

④講演「サポイン事業を活用して第三創業へ」

（株）内山刃物（浜松市中区） 代表取締役 内山 文宏 氏

⑤個別面談会

受講料：[県西部地域]無料、[県西部地域外]1,000 円

参加者：20 社 26 名（定員：50 名、申込：28 名）
 [県西部地域] 19 社 25 名、[県西部地域外] 1 社 1 名
 個別相談会：4 社

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
セミナー等参加企業数	96 社	97 社	30 社
補助金採択支援企業数(サポイン)	3 件	5 件	3 件

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

16 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 500,000 円（予算額 500 千円） <財団自主>

【目的】

各地域の産学官連携推進機関との広域的な連携を図るとともに、地域企業における国等の各種研究開発事業による成果の発信や国内外の市場に向けた事業展開を支援する。

【年度総括】

医工連携拠点の事業運営委員会で決定された事業計画に基づき、「医工連携スタートアップ支援事業（新規医工連携プロジェクト補助事業）」の公募をはじめ、計画通り事業化支援の取り組みを実施した。また、定期的に医工連携拠点ワーキング会議を開催し、情報共有及び関係機関の連携を図った。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活動計画を実現するため、当財団から 3 名の職員を浜松医科大学内に事務局を置く「拠点」に派遣し、提案機関の一つとして活動を支援した。

(1) メディカルイノベーションフォーラム 2020

開催日：令和 2 年 3 月 17 日（火） ※中止

会 場：浜松医科大学 医工連携拠点棟

内 容：基調講演、意見交換

参加者：一名

17 地域産業活性化支援事業

決算額 359,562 円（予算額 2,008 千円） <財団自主>

【目的】

各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与することを目的とする。

【年度総括】

令和元年度は、販路開拓支援の一環として地域企業 2 社に対し、平成 30 年度にトライアル事業（経営支援 NPO クラブ連携）として実施した、大手企業とのマッチングに対する継続支援を行った。（医療機器メーカー、介護用品メーカー等と継続中の案件）

また、静岡県 IoT 活用研究会とは適宜連携を図り、地域企業の IoT 活用による各種効率化等の推進策を研究会とともに模索した。さらに、浜松市海外経済交流推進事業に対しては、負担金を交付し、浜松市内中小企業の「海外ビジネス展開」に対して側面支援を行った。

令和 2 年度も国等の動向に迅速に対応し、地域企業の課題解決を目的とし、必要に応じてトライアル事業等を実施する。

【実施内容】

浜松地域の産業経済の発展に寄与する市受託事業や他事業などを補完する施策を実施した。また、わが国の産業や経済構造の急激な環境変化に加えて、多様化する地域経済や地域企業のニーズに迅速かつ効果的に対応する施策を検証した。

(1) 浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与する事業

ア 静岡県 IoT 活用研究会連携業務

同研究会は、企業、大学、産業支援機関、行政等が相互に「インダストリー4.0」をはじめとする事業活動における IoT の活用に関する情報提供や意見交換、交流の場を設置することにより、「事業活動の連携=つながる」をテーマに、経営力の向上やビジネス機会の創出に寄与することを目的としている。本機構は、事務局を担う静岡県経済産業部商工業局をはじめとする 4 つの団体のひとつとして、事務局業務をサポートした。

①総会：平成 31 年 3 月 27 日（水）

平成 30 年度事業報告および令和元年度事業計画発表

②研究会活動（4 分科会による研究活動）

主に清算効率化分科会・企業間データ連携分科会を中心に、企業の課題から具体的テーマを掘り起こし、課題解決の手法～簡易実証実験により、IT・IoT による効果の検証を行った。

- ・エネルギーデータ利活用：会員企業の個別実証試験に向け検討
- ・生産効率化：会員企業の個別実証試験に向け検討
- ・物流効率化：会員企業の個別実証試験に向け検討
- ・企業間データ連携：会員企業の個別実証試験に向け検討
- ・ビジネスマッチング：IoT 応援ツール展示会として検討

※県内支援機関、IT コーディネーター、県工業技術研究所、IoT 技術アドバイザーなどにより、IoT 研究会活動状況報告及び支援方法等を検討

③IoT 活用事例普及事業

- ・製造業向け IoT 実践セミナー

開催日：令和元年 11 月 21 日（木）

会 場：静岡県産業振興財団 会議室

参加者：14 社 14 名

- ・IoT 応援ツール展示会

※富士山麓産学官連携フォーラム内へ共同ブースを出展

開催日：令和元年 11 月 14 日（木）

- ・IoT 応援ツール展示会 in いわた

開催日：令和元年 11 月 7（金）～8 日（土）

※産業振興フェア in いわた内へ共同ブースを出展

- ・個別相談会：IoT 支援専門員を派遣しシステム提案等を行った
- ・工場見学会：静岡県工業技術研究所内「静岡県 IoT 推進ラボ」の見学

④産学連携・技術向上

- ・静岡県畜産技術研究所及び静岡県水産振興課からのニーズを得て地域企業とのマッチング及びIoT支援専門員を派遣した。

イ 海外経済交流推進事業

浜松市、ジェトロ浜松、浜松商工会議所と連携して、市内中小企業の「海外ビジネス展開」を支援するため、浜松市海外経済交流推進協議会事業に対して負担金を支払い、また、産業支援機関として各種事業のフォローアップを行った。

- ・浜松市海外経済交流推進協議会負担金支出
平成27年度：500千円、平成28年度：300千円、平成29年度：100千円
平成30年度：100千円、令和元年度：100千円
- ・海外経済交流推進協議会：平成31年4月19日（金）、9月26日（木）
- ・投資環境セミナー（ベトナム、インドネシア、タイ、インド）
- ・現地でのセミナー、意見交換会及び交流会（ハノイ、ジャカルタ、バンコク）
- ・展示商談会への出展（タイ）
- ・投資環境視察ミッション派遣（インド）

ウ その他事業

本事業の目標を達成するため、必要に応じて新規事業を実施するとともに、関係機関との連携を強化した。

(2) 国等の最新動向などに対応したトライアル事業

国等の動向及び地域経済や地域企業のニーズに対応する迅速かつ効果的な支援施策を模索するため、関東経済産業局をはじめとする各機関との連携を密に情報収集を行った。

- ・トライアル事業（継続案件）
大手企業マッチング支援事業（経営支援NPOクラブ連携）
支援企業：沢根スプリング株式会社（浜松市南区）、株式会社美浜工業（浜松市浜北区）
支援成果：両社ともに大手企業2社とマッチングし、協業に向け検討中

18 フォトンバレープロジェクト推進事業

決算額 133,939,870 円（予算額 146,820 千円） <県・8市町負担金等>
決算額 10,216,541 円（予算額 10,000 千円） <国補助>

【目的】

「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン（フォトンビジョン）」の実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する。

併せて、地域の中核支援機関（プラットフォーム）として、光・電子技術が持つ将来の可能性と地域の強みを活かしながら、光・電子技術の世界的拠点となるクラスターの形成を目指す。

【年度総括】

令和元年度は、平成30年度に開始した「A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業」について第2期・第3期の事業実施、年度内における3回の募集（第3期～第5期）を行い、フォトンバレーセンターのメイン事業としての位置づけを確立させるべく活動した。3回の募集で合計18社から申請があり、令和2年3月までで6件を採択するとともに、採択に至らなかった案件についてもフォローアップを行い、相談

企業が課題解決の糸口を見つけられるように努めた。事業の広報に関しては、令和元年7月に第1期の事業報告会を開催し、多数の方に本事業の有用性をPRすることができた。また、静岡市で説明会を開催するなど、県西部地域以外の企業への制度の周知に努めた。

また、地域企業が必要とする人材育成のための「B-LABO」は、テキストとグループワークを中心とした新たな内容に衣替えし、顧客視点を起点に置き、企業のあるべき姿を設定するコンセプト主導型の開発手法を行える人材を育成するべく注力した。さらに、「未来創成フォトンバレーセミナー」や県西部地域8市町における「参入啓発セミナー」等のセミナーを数多く行い、フォトンバレーセンターの認知度をさらに向上させるとともに、地域に光・電子技術に関する情報を提供し、必要に応じてコーディネーターによる個別の相談を行うなど、地域企業の企業力向上にも努めた。

令和2年度においては、A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業の支援件数、募集回数共に拡大し、年度に縛られないシームレスな支援の枠組みを構築するとともに、引き続き「未来創成フォトンバレーセミナー」や「参入啓発セミナー」等で地域企業への情報提供を行い、各企業が光・電子技術を効果的に活用できる事業運営を行う。人材育成事業の「B-LABO」では、令和元年度リニューアルした内容のブラッシュアップを行い、内容の定着を図る。

【実施内容】

フォトンバレーセンターは、地域の中核支援機関として、大学の産学連携推進組織や金融機関、官公庁などの各セクターとの連携を強化するとともに、企業群のネットワーク化を進め、入口から出口までを一貫して支援する体制を構築した。

この体制の下、大学シーズと企業ニーズのマッチングをはじめ、光・電子技術活用のためのセミナーなどの人材育成事業や光・電子技術の活用による生産性向上に取り組む企業などの支援を行った。

(1) ビジネスマッチング事業

ア コーディネート事業

・支援種別件数

参入啓発	製品開発	生産性向上	販路開拓	海外展開	人材育成	その他	合計
38	895	168	400	66	26	303	1,896

・技術分野別件数

次世代自動車	医療・福祉機器	ロボット	航空宇宙	環境関連技術	新エネルギー	新農業	CNF	食品	光・電子	その他	合計
22	47	11	5	23	9	24	1	2	1,619	133	1,896

・地区別支援・相談件数

西部								中部 東部	県外	合計
浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町			
1,217	72	28	59	10	3	5	7	112	383	1,896

イ 参入啓発セミナー

企業における既存事業の課題解決及び新規事業開発に向け、光・電子技術の導入を促すことを目的に、技術の有用性や有望性を啓発するセミナーを実施した。

・次世代自動車に浸透する「光技術」の最新動向セミナー

開催日：令和元年6月17日（月）

会 場：湖西地域職業訓練センター

内 容：事業紹介（次世代自動車センター・フotonバレーセンター）

講演／自動車照明技術の最新動向

講師／(株)小糸製作所（東京都港区）

研究所長兼モビリティ戦略部長 伊藤 昌康 氏

講演／完全自動運転実現のためのコア技術

講師／名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ領域

特任教授 二宮 芳樹 氏

参加者：105 名（定員：60 名）

・次代につなぐ！「匠の技をデジタル化」入門セミナー

開催日：令和元年 9 月 18 日（水）

会 場：森町町民生活センター

内 容：講演／きさげにおける熟練技能の定量化

講師／兵庫県立大学大学院 工学研究科

准教授 布引 雅之 氏

講演／技能伝承マニュアルの動画化

講師／トラヤテレビサービス(株)（静岡市葵区）

代表取締役社長 榎戸 基 氏

参加者：62 名（定員：40 名）

・IoT 導入企業見学会

開催日：令和元年 10 月 30 日（水）

内 容：訪問先企業

エンシュウ(株)（浜松市南区）

三菱電機(株)名古屋製作所（愛知県名古屋市）

参加者：15 名（定員：15 名）

・モノづくり IoT の進め方 ～IoT 地域産業を IT 化でつなげる～

開催日：令和元年 11 月 8 日（金）

会 場：アミューズ豊田「ゆやホール」

内 容：講演／IVI の地域ネットワーク活動から生まれた中小企業の事例

講師／IVI 教育普及委員会 委員長 渡邊 嘉彦 氏

講演／安く！簡単に！やってみたくなる IoT ツール・センサー等の紹介

講師／IT コーディネーター／(株)叢雲堂（東京都中央区）

代表取締役社長 池谷 隆典 氏

参加者：91 名（定員：40 名）

・センサーの活用法を知る！

開催日：令和元年 12 月 12 日（木）

会 場：御前崎市文化会館 大研修室

内 容：講演／光半導体デバイスの基礎と最新の応用事例

講師／浜松ホトニクス(株)（浜松市東区）

固体事業部 営業推進部 主任部員 渥美 利久 氏

講演／産業用ロボットとセンサーの活用事例

講師／(株)ヤナギハラメカックス（榛原郡）

第二製造部 次長 藤原 睦巳 氏

参加者：44 名（定員 40 名）

・光を知れば、ものづくりが変わる！

開催日：令和2年1月29日（水）
 会場：掛川商工会議所
 内容：講演／光はどう使えばいいの？入門編
 講師／光産業創成大学院大学 学長 瀧口 義浩 氏
 講演／0からはじめる製造業IoTの基本
 講師／ITコーディネータ/㈱叢雲堂（東京都中央区）社長 池谷 隆典 氏
 参加者：34名（定員40名）

・新たな価値次元の創造を目指して「製造業のサービス化」入門セミナー
 開催日：令和2年2月20日（木）
 会場：袋井市総合センター
 内容：講演／なぜ今「製造業のサービス化」か ～背景、メリット、課題～
 講師／光産業創成大学院大学 教授 江田 英雄 氏
 講演／知的財産から見た製造業のサービス化
 講師／京都北山特許法律事務所 代表弁理士 西村 竜平 氏
 参加者：57名（定員40名）

・今更聞けない「クラウド」入門セミナー
 開催日：令和2年3月5日（木） ※中止
 会場：グランドホテル浜松
 内容：講演／そもそもクラウドって何？
 講師／アマゾンウェブサービスジャパン株式会社（東京都目黒区）
 テリトリ本部 中部営業部 邊見 隆一 氏
 講演／クラウドで何ができるのか？
 講師／株式会社TOKAI コミュニケーションズ（静岡市葵区）
 法人営業本部クラウドソリューション推進室 室長 林 秀樹 氏
 講演／クラウドサービスの活用例はどんなものがあるのか？ー旭鉄工の実例よりー
 講師／i Smart Technologies 株式会社（愛知県碧南市）社長 付 木野 竜之介 氏
 申込者：57名（定員50名）

(2) 産学官金連携事業

ア 展示会出展支援

東京などの大都市で開催される展示商談会へフォトンバレーセンターの共同ブースを設置し、地域企業の新製品や新技術の販路開拓を支援するとともに、本センターの活動の周知を図った。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
4月25日（木）～27日（土） （パシフィコ横浜）	OPIE'19 レーザーEXPO	7社
シナジーオプトシステムズ㈱（浜松市西区）、SAW&SPR-Tech㈱（浜松市中区）、ソフトウェアス㈱（浜松市中区）、パイフォニクス㈱（浜松市東区）、パルスステック工業㈱（浜松市北区）、㈱分光応用研究所（浜松市中区）、㈱松永特殊溶接（焼津市）		
12月4日（水）～6日（金） （幕張メッセ）	Photonix 2019 光計測・分析機器展	4社
㈱パパラボ（浜松市中区）、パルスステック工業㈱（浜松市北区）、㈱ビートセンシング（駿東郡）、富士工業㈱（浜松市南区）		

イ 広報発信事業

①広報媒体の作成及び運用

a パンフレット作成

発 行：令和元年 7 月、12 月

発行部数：各 500 部

b ホームページ

開 設：平成 29 年 11 月

アドレス：<https://www.hai.or.jp/pvc/>

※A-SAP 用ページを開設（令和元年 12 月）

②県西部地域の展示会における情報発信

フォトンバレーセンターの取り組み及び光・電子技術の有用性や有望性を発信するため、県西部地域で開催される技術展示商談会に出展した。

・第 13 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2019

期 日：令和元年 7 月 17 日（水）～18 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

・産業振興フェア in いわた

期 日：令和元年 11 月 8 日（金）～9 日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

共同出展者：静岡製機(株)（袋井市）、スカイプランニング(株)（浜松市北区）、
パイフォトンクス(株)（浜松市東区）、(株)ホバリング（浜松市中区）

③未来創成フォトンバレーセミナー

フォトンバレーセンターの活動を広く周知するとともに著名な講師を招いて未来創成につながる講演を開催した。

期 日：令和元年 11 月 28 日（木）

会 場：えんてつホール

講 師：日本アイ・ビー・エム(株)（東京都中央区）

東京基礎研究所 那須川 哲哉 氏

はこだて未来大学 副理事長 松原 仁 氏

参加者：134 名（定員：100 名）

ウ 光を利用したものづくりに関するセミナー

人手不足が深刻化している製造現場において、製品検査における改善をテーマに、生産性向上に向けた目視検査法の紹介及び目視検査に代わりうる画像検査の紹介により、企業が抱える課題解決を行った。

・第 1 回「目視検査の常識を覆す！『周辺視目視検査法』入門」

開催日：令和元年 7 月 25 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

内 容：周辺視目視検査法の理解・導入方法、見逃しの原因となる検査対象物と
光源（検査用照明）の関係、事例紹介

講師／周辺視目視検査研究所 代表 佐々木 章雄 氏

参加者：71 名（定員：60 名）

・第 2 回「導入前に知っておきたい画像検査の現状とこれから」

開催日：令和元年 10 月 9 日（水）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：講演／外観検査の自動化はなぜうまくいかないのか？
講師／㈱オービット（京都府京都市） 代表取締役社長 山田 宏和 氏
講演／初の画像検査のための技術深掘りと機械学習
講師／中京大学 名誉教授 / (同) YYC ソリューション (愛知県名古屋市)
CEO 興水 大和 氏

参加者：137 名（定員：80 名）

エ 健康医療分野のセミナー ※はままつ医工連携拠点と共同開催
はままつ医工連携拠点との共催による健康医療分野に関するセミナー（全 5 回）
を実施した。

- ・第 1 回：薬機法入門セミナー「薬機法の基礎」
開催日：令和元年 9 月 12 日（木）
会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター
講 師：OGY メディカルデバイスソリューションズ㈱（東京都八王子市）
代表取締役 荻生 久夫 氏
内 容：薬機法の規制対象となる範囲や内容全般の解説
参加者：26 名（定員 30 名）
- ・第 2 回：医療機器分野参入セミナー1「医療機器分野参入方法について」
開催日：令和元年 10 月 10 日（木）
会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター
講 師：OGY メディカルデバイスソリューションズ㈱（東京都八王子市）
代表取締役 荻生 久夫 氏
内 容：医療機器分野参入の考え方、ニーズに基づいた医療機器の開発方法
参加者：33 名（定員 30 名）
- ・第 3 回：医療機器分野参入セミナー「リスクマネジメントについて」
開催日：令和 2 年 2 月 17 日（月）
会 場：浜松医科大学 医工連携拠点棟 3 階 大会議室
講 師：（独）中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏
内 容：医療機器のリスクマネジメントの概要
参加者：43 名（定員 30 名）

オ ビジネスプロデュース力養成ラボ 2019

浜松地域の偉大な先人たちの足跡を学びつつ、イノベーションの創出や持続的発展のため、自ら考え、課題を設定し、信念を持って事業構想をまとめ上げ、次世代のビジネスを担っていくビジネスプロデュース力の養成を行った。

<①ゼミナール編（ワークショップ）、②早わかり講座編（講座）>

開催日：令和元年 10 月 11 日（金）～令和 2 年 2 月 7 日（金）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター ほか

内 容：①ゼミナール編（8 日間）／ワークショップ形式により、イノベティブな新規事業を創り出すため価値創造を議論する
②早わかり編（7 日間）／早わかり講座として、ビジネスに必要な知識を習得する

対象者：県内企業の中堅層を担う方、これからビジネスを担っていく方

受講料：①50,000 円、②10,000 円

参加者：①10 社 15 名、②17 社 27 名（定員：各 15 名）

(3) 技術活用支援事業

光・電子技術を活用した事業展開を支援するため、光・電子技術を新たに活用し製品開発に向けた試作品の製作や既存事業への光・電子技術の導入に対する補助事業を実施した。

ア 光・電子技術活用促進事業費補助金

公募期間：令和元年 5 月 10 日（金）～7 月 12 日（金）

対象事業：＜製品開発＞

光・電子技術を活用した試作品製作（例：認識、計測、制御、加工等）
＜生産性向上＞

既存事業の生産性向上に資する光・電子技術の導入・活用

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 2,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

事業期間：交付決定後～令和 2 年 2 月 29 日（土）

申請件数：7 件

採択件数：6 件

交付決定額：7,560,800 円（6 件）

交付確定額：6,945,428 円（6 件）

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	アート電子(株)（浜松市北区）	確定額	825,315
	〔事業名（製品開発）〕 波長 7～50 μm 領域で動作するバンド間遷移カスケードレーザーの開発			
	〔成果と今後〕 長波長領域の発光特性測定用に回折格子型分光装置及びレーザー基板を製作し、レーザー動作の実証を行った。今後は、レーザー発振の実現を目指し、実証を継続する。			
2	企業名	(株)スカイロジック（浜松市北区）	確定額	1,100,000
	〔事業名（製品開発）〕 人工知能と画像処理を組み合わせた製品検査システムの開発			
	〔成果と今後〕 人工知能プログラムを組み合わせたシステムを構築し、複数の対象物について画像処理の試験を行った結果、従来の方法では検出ができなかった欠陥の検出が可能となった。今後は、学習に要する作業負担の軽減や検出率向上に向けたデータとノウハウの蓄積に取り組む。			
3	企業名	シナジーオプトシステムズ(株)（浜松市西区）	確定額	2,000,000
	〔事業名（製品開発）〕 ウエハベル VCSEL 用発光素子測定装置の開発			
	〔成果と今後〕 従来の発光ビーム形状に加え、電気・光出力特性や偏光状態、スペクトル等の光学特性をウエハレベルで検査可能な装置を実現できた。今後は、偏光測定に要する時間の短縮を目指す。			

4	企業名	(株)モアソンジャパン (浜松市中区)	確定額	1,171,113
	〔事業名 (製品開発)〕 屋内で位置情報および動線が記録できるシステムの開発			
	〔成果と今後〕 観測対象の人がもつデバイスや動線を表示するサーバー等を作成し、試作機を完成させた。今後は、デバイスのケースの改良や精度の向上に取り組む。			
5	企業名	イメージテック(株) (浜松市中区)	確定額	1,150,000
	〔事業名 (製品開発)〕 CdTe 素子で構成された X 線ラインセンサカメラを搭載した X 線検査装置の構築			
	〔成果と今後〕 CdTe カメラの性能評価を行い、X 線検査装置へのカメラを組み込んだ場合の優位性確認及び画像処理ソフトウェアを製作した。今後は、カメラの各種モードにおける使用法の確立等に取り組む。			
6	企業名	グローバル・リンクス・テクノロジー(株) (浜松市西区)	確定額	699,000
	〔事業名 (生産性向上)〕 3D-CAD 導入による電子機器検査装置の設計サービスの効率化			
	〔成果と今後〕 2 次元 CAD に代わり 3 次元 CAD を導入した結果、設計開発期間の短縮、解析を用いた設計の適正化によるコストダウン、イメージの共有化による対応品質の向上等につながった。今後は、多くの案件をこなすことにより 3 次元 CAD の習熟を目指す。			
合計				6,945,428

(4) 世界的ネットワーク構築支援事業

ア 「フラウンホーファーIWS 研究所」 来訪対応

同研究所の研究者を招き、セミナー開催及び企業訪問 (浜松ホトニクス(株)中央研究所 (浜松市浜北区) 及び(株)オプトコム (磐田市)) を実施した。

開催日：令和元年 5 月 30 日 (木) ※企業訪問：31 日 (金)

演 題：ドイツにおける最新のレーザクラッディングと溶射技術セミナー

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

参加者：40 名 (定員：50 名)

講 師：ドイツ連邦共和国ザクセン州経済振興公社 (東京都港区)

日本代表部 代表 尾木 蔵人 氏

講 師：フラウンホーファーIWS 研究所 (材料・ビーム技術研究所)

溶射グループマネージャー Dr. Maria Manuel Barbosa 氏

イ 台湾展示会への出展

海外市場への販路開拓を支援するため、県内企業と展示会に共同出展した。なお、出展にあたっては、新たな連携先として交流を始めた台湾工業技術研究院の支援を受けた。

期日 (会場)	展示会名称	出展社数
9 月 26 日 (木) ~28 日 (土) (台湾世界貿易センター)	TAIWAN INNOTECH EXPO 2019	1 社

※出展支援企業: シナジーオプトシステムズ(株) (浜松市西区)

ウ 日台オープンイノベーション・ワークショップ

「産業振興フェア in いわた」にあわせ、台湾工業技術研究院（ITRI）幹部を招聘し、ワークショップを開催した。

開催日：令和元年11月9日（土）

会 場：アミューズ豊田 研修会議室

内 容：講演／ITRI の国際連携支援と産業コンサルティングサービス、技術連携スキームと事例紹介

講師／ITRI 産業科技国際戦略発展所 副所長 楊 馬田 氏

講演／ITRI のスマート製造技術の研究開発と民間連携について

講師／ITRI 機械システム研究所 副所長 周 大鑫 氏

「産業振興フェア in いわた」出展企業によるピッチ（2社）

参加者：14名（定員：20名）

エ 浜松市国際見本市「Photonics West 2020」出展支援

浜松市事業の「Photonics West 2020」出展について、共同出展者の募集、浜松市国際見本市出展ブース運営委員会「Photonics West」部会への参加、現地見本市での出展者支援を行った。

開催日：令和2年2月4日（火）～6日（木）

会 場：米国 カリフォルニア州 サンフランシスコ市 モスコーン・センター

(5) A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業

国内初の産学連携スキームを構築し、企業の課題解決のためのプロジェクトチームを外部の専門家や企業等で結成して、光・電子技術の活用により早期の課題解決を支援した。

対象事業：(1) 新製品の開発に向けた試作品の製作

(2) 新製品・サービスの開発に向けた設計

(3) その他センターが認めるもの

委託金額：1プロジェクトあたり上限500万円

・第2回公募

申請件数：13件

事業期間：令和元年5月中旬～12月31日（火）※最長6ヶ月間

採択件数：5件

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	沢根スプリング(株) (浜松市南区)	委託額	3,996,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] SS トルクコイル・プロジェクト			
	[成果と今後] カテーテル・内視鏡用の新製法による多層・多条コイルを試作し、試作品と同等の寸法を持つ従来製品との性能比較を行い、設計パラメータで性能に影響を及ぼす因子について知見を得た。今後は、国内のガイドワイヤにおける需要の調査を行うとともに、客先からの要望に対応するノウハウを蓄積させ、国内・国外の医療器具メーカーからの受注を目指す。			
2	企業名	(株)里灯都 (浜松市西区)、(株)鈴三材木店 (浜松市浜北区)	委託額	3,978,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名] 構造用合板のレーザー加工			

	[成果と今後] 現在主流の材質と異なるが同等程度の透湿性を持ち、かつ安価な構造用合板の開発を目標としたが、コスト面とのバランスを考慮した結果、透湿性を前面に押し出した製品へのビジネスモデルの転換を決定し、生産性向上に向けた課題の整理と解決手法の提案を行った。今後は、企業と大学が共同で課題解決を進め、製品化を行う予定である。			
3	企業名	(株)キャップ (周智郡森町)	委託額	3,996,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 高性能ドローン開発のための動力モータ設計・試作			
	[成果と今後] 高性能ドローンの開発に向け、ドローン用モーターの鉄心新素材の性能評価を行い、開発指針を示すことができた。また、ベンチマークとしているドローン用モーターの性能を上回ることを目標とし、最大効率 94%のモーターを設計・試作した。今後は、成形技術改良を進め、一年以内の製品化を目指す。			
4	企業名	(株)モリロボ (浜松市中区)	委託額	4,000,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 省エネクレープロボット			
	[成果と今後] 現行機の性能評価ののち、断熱設計・加熱方法・熱源の最適化を行った試作機を製作し、性能評価を行い、現行機の仕様を維持しつつ消費エネルギーを約 7%削減することに成功した。今後は、目標としている約 30%の省電力化に向け、ヒーターの位置や制御、熱反射板の再設計等でエネルギー効率の改善を目指す。			
5	企業名	ソフトウェアス(株) (浜松市中区)	委託額	3,996,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] AI によるワイヤボンド検査装置用画像処理パラメータ設定の効率化			
	[成果と今後] ワイヤボンド検査機に使われている画像処理用パラメータの設定作業を、AI を用いて効率化するために机上評価及び実機評価を行い、熟練者の作業データと比較し、望ましい異常検出が行えることを確認した。今後は、社内での AI 使用により事業化が可能か見極め、製品開発の効率化を行い、製品の販売拡大につなげることを目標に開発を継続する。			
合計				19,966,000

・第 3 回公募

公募期間：平成 31 年 4 月 17 日（水）～5 月 31 日（金）

申請件数：8 件

事業期間：令和元年 9 月中旬～令和 2 年 2 月 29 日（土）

採択件数：3 件

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	(株)日本スポーツ科学（浜松市中区）	委託額	4,875,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	〔プロジェクト名〕 50m 走タイムの予測システムの開発			
	〔成果と今後〕 50m 走タイムの予測システム開発のために、立ち幅跳び、連続ジャンプ、ステッピングを計測する装置の試作機を開発し、目標とした性能を満たすことができ、知的財産の面からも問題がないことを確認した。今後は、タイム表示ソフトの UI デザインの検討も含め、支援依			

	頼企業が開発を進めるとともに、計測装置については量産化し、新規店舗と新規フランチャイズ店舗に設置していく予定である。			
2	企業名	芝原工業(株) (磐田市)	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー		光産業創成大学院大学	
	[プロジェクト名] ビーム径可変レーザー溶接用ハンドトーチの開発			
	[成果と今後] 支援依頼企業とのニーズを満たすハンドトーチのビーム可変光学系部分の機械設計を行い、要求を満たす設計に成功するとともに、試作品を作るために必要なビーム可変光学系の光学設計と、今後の実験にて明らかになる集光ビーム径の倍率に応じて設計変更が容易な機械設計が完了した。今後は、実際のプロトタイプを製作して性能検証し、ブラッシュアップを行う予定である。			
3	企業名	池戸電気(株) (浜松市中区)	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー		静岡大学	
	[プロジェクト名] CNT ヒーターユニットの開発			
	[成果と今後] 食パン用トースターに使用可能であり、ヒーター性能のばらつきや部分的な異常加熱のない CNT ヒーターユニットの試作品の完成を目指し、試作品を製作して性能試験を行ったところ、目標とする数値を満たすことができなかったものの、ヒーターを安定的に動作させることに成功した。今後は、引き続き産学共同でヒーターユニットの製品開発を進め、低温用小型 CNT ヒーターユニット・高温用小型 CNT ヒーターユニットの開発を進める。			
合計				14,867,000

・第4回公募

公募期間：令和元年10月10日（木）～11月11日（月）

申請件数：7件

事業期間：調整中（令和2年5月以降）

採択件数：3件

・第5回公募

公募期間：令和2年2月19日（水）～2月29日（土）

申請件数：3件

事業期間：調整中（令和2年6月以降）

(6) 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム ※国補助事業

平成28年9月に静岡大学及び浜松市が申請した文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（事業名：光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術）」が採択された（平成28年度から平成33年度の5年間限定）。これを受けて、低侵襲立体内視鏡等の事業化プロジェクト成果の海外展開や新たな産業基盤の構築を推進するにあたり、当該プログラムにおける自治体が指定する機関として、マーケティングを専門とするコーディネーターを1名配置（国費を活用）することにより連携を図った。

事業期間：平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火）

補助金額：10,213千円（交付決定額）

10,213千円（交付確定額）

(7) 静岡県中小企業制度融資及び新規・地域産業立地事業費補助金

静岡県の依頼に対し、成長分野（フォトンバレープロジェクト）に該当するか否

かについて、フォトンバレーセンターの内規に基づき審査した。

ア 成長産業分野支援資金「クラスター産業分野支援貸付」

光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進する。

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参加する中小企業者、組合など

融資限度額：10 億円

対象経費：クラスター産業分野を推進するための研究、開発、製造、販売に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：14 件 1,402,200 千円 ※平成 30 年度実績：10 件 699,100 千円

イ 新規・地域産業立地事業費補助金

県内で製造工場や物流施設等を新設・増設する企業の設備投資に対して静岡県が助成を行うことにより、国内外からの新たな企業の誘致や県内企業の定着を促進した。

補助対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参加する企業、組合など

補助限度額：10 億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

補助実績：0 件 ※平成 30 年度実績：0 件

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
相談・対応件数	2,262 件	1,896 件	2,000 件
「光・電子技術活用補助金※3」試作・導入件数	6 件	6 件	5 件
「A-SAP※4」試作・製作等の実施件数	6 件	8 件	7 件
技術ニーズマッチング	62 社	27 社	80 社
商談成立件数	6 件	12 件	15 件

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

※3：光・電子技術活用促進事業費補助金（製品開発または生産性向上）

※4：産学官金連携イノベーション推進事業

19 次世代自動車センター事業

決算額 66,000,000 円（予算額 82,000 千円） <静岡県・浜松市負担金>
 決算額 5,741,778 円（予算額 8,000 千円） <国補助>
 決算額 2,484,555 円（予算額 4,000 千円） <財団自主>
 決算額 4,002,000 円（予算額 3,200 千円） <会員会費>

【目的】

近年加速する自動車産業の技術革新（EV 化や自動運転化等）に伴うビジネス環境

の変化に対応するため、県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する。

【年度総括】

次世代自動車センターでは、地域中小企業に対し、次世代自動車に関する情報提供や知識習得機会の提供を目的とした実践的な事業を実施しているが、令和元年度は「技術動向講演会」や「モータ及び電気自動車の基礎講座」等、18 事業(34 回開催)を実施し、延べ 2,123 名の参加があった。

また、当センターでは、地域中小企業が自社の固有技術を認識、活用し、次世代自動車に搭載される可能性のある試作品を製作することで技術力を向上させ、完成車メーカーや大手部品メーカーとの技術マッチングを促進することを目標として掲げている。このため、(1)「固有技術探索チャート」を作成する地域中小企業及び技術ニーズを提供いただく大手部品メーカーとの秘密保持契約の締結、(2)地域中小企業による「固有技術探索チャート」の作成、(3)技術マッチングのための企業訪問、(4)試作品製作機会の提供、といったプロセスを想定し、令和元年度中に秘密保持契約 37 件の締結、固有技術探索チャート 38 件の提出、84 社の企業訪問、試作品製作のための委託契約 2 件を締結した。その結果、新たに商談が 2 件成立したことから、令和 2 年度も地域中小企業のニーズに沿った事業を展開し、次世代自動車に関する情報提供や知識習得機会を提供するとともに、引き続き技術マッチングを展開する。

【実施内容】

地域中小企業が次世代自動車に搭載される部品を開発するための 5 つの支援（技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓）に基づく事業を展開し、会員企業の技術開発支援やマッチング支援を行った。

<会員制度>

- ・会員企業 342 社 ※令和 2 年 3 月末時点
[県西部地域] 201 社、[県西部地域外] 141 社
[中小企業] 275 社、[大手企業] 67 社

<入会資格>

- ①静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業
 - ②地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業
 - ③当センターの事業に賛同する企業 等
- 年会費：12,000 円（税込） ※10 月以降に加入の場合 6,000 円（税込）

<事業展開> ※基本的に会員企業が対象

(1) 技術啓発

ア 次世代自動車センターフォーラム ※非会員企業も対象

開催日：平成 31 年 4 月 18 日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：次世代自動車センターの活動報告及び今年度の事業計画について

説明／次世代自動車センター センター長 望月 英二
基調講演

演題／次世代自動車の世界的な動向と経済産業省における支援策

講師／経済産業省 製造産業局 自動車課長 河野 太志 氏

公開座談会

演題／次世代自動車センターに期待すること

司会／次世代自動車センター センター長 望月 英二

参加者／スズキ(株) 代表取締役会長 鈴木 修 氏

静岡県 経済産業部長 天野 朗彦 氏
浜松商工会議所 会頭 大須賀 正孝 氏
静岡大学 理事・副学長 木村 雅和 氏

参加費：無料

参加者：139 社 476 名（定員：300 名、申込：161 社 501 名）

〔県西部地域〕86 社 339 名、〔県西部地域外〕53 社 137 名

※交流会参加者：147 名

イ 技術動向講演会 ※非会員企業も対象

開催日：令和元年 10 月 28 日（月）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：基調講演

演題／欧州における次世代自動車の技術動向について

講師／リカルド ジャパン(株)（神奈川県横浜市）

ビジネスオペレーションマネージャー トーマ ジョエル 氏

エイヴィエルジャパン(株)（神奈川県川崎市）

副事業部長 野寄 高宏 氏

演題／中小企業のための次世代自動車に対する技術的な対応方法について

講師／次世代自動車センター センター長 望月 英二

先行開発企業 5 社によるスモールプレゼンテーション

参加費：無料

参加者：130 社 284 名（定員：200 名、申込：316 名）

〔県西部地域〕88 社 220 名、〔県西部地域外〕42 社 64 名

※交流会参加者：79 名

ウ 会員企業アンケート調査

①会員企業アンケート調査結果報告会

開催日：令和元年 7 月 4 日（木）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：会員企業アンケート調査結果報告～次世代自動車への取り組み状況～

説明／次世代自動車センター センター長 望月 英二

先行開発企業によるスモールプレゼンテーション

8 社／TPR(株)（東京都千代田区）、(株)フジ・コーポレーション（宮城県富谷市）、(株)テクニカルサポート（浜松市北区）、アイテック(株)（大阪府大阪市）、新日本特機(株)（浜松市西区）、東海電気(株)（愛知県名古屋市）、(株)NST（浜松市北区）、川崎工業(株)（菊川市）

参加費：無料

参加者：106 社 181 名

〔県西部地域〕72 社 128 名、〔県西部地域外〕34 社 53 名

②アンケート調査

実施日：令和 2 年 1 月～2 月

内 容：会員企業の次世代自動車に対する対応の取り組みや次世代自動車センターへの要望事項を把握し、その結果を事業に活用することを目的としたアンケート調査

対 象：会員企業

委託先：アーサー・ディ・リトル・ジャパン(株) (東京都港区)

エ 海外イベント視察報告会

①上海モーターショー2019 (中国・上海市)

会 期：平成31年4月18日(木)～25日(木)の8日間

視察日：平成31年4月23日(火)～25日(木)の3日間

視察者：望月センター長、山村チーフ CD

開催日：令和元年6月14日(金)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

参加者：80社118名(定員：100名、申込：82社124名)

②フランクフルトモーターショー2019 (ドイツ・フランクフルト)

会 期：令和元年9月12日(木)～22日(日)の11日間

視察日：令和元年9月16日(月)～22日(日)の7日間

視察者：望月センター長、森島 CD、仲本 CD

開催日：令和元年11月8日(金)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

参加者：60社93名(定員：100名、申込：63社96名)

③CES2020 (アメリカ・ラスベガス)

会 期：令和2年1月7日(火)～10日(金)の4日間

視察日：令和2年1月7日(火)～10日(金)の4日間

開催日：令和2年2月26日(水)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

参加者：53社80名(定員：100名、申込：75社106名)

オ モーター及び電気自動車の基礎講座

開催日：第1回／令和元年9月5日(木)

第2回／令和元年10月1日(火)及び11月1日(金)

第3回／令和元年12月2日(月)

第4回／令和2年1月23日(木)

第5回／令和2年2月14日(金)

会 場：静岡理工科大学 等

内 容：全5回講座

第1回／モーターの基礎(座学)

第2回／モーター実習

第3回／電気自動車の基礎(座学)

第4回／新旧リーフの比較(座学及び分解展示見学)

第5回／量産車の電動システム(座学)と工場見学

参加者：第1回／25社35名

第2回／24社31名

第3回／26社32名

第4回／24社32名

第5回／20社28名

カ EMC(電磁環境適合性)基礎講座

開催日：令和元年6月20日(木)、7月23日(火)、9月9日(月)

会 場：浜松商工会議所会館、浜松工業技術支援センター

内 容：全3回講座

EMC の基本原理、測定機器の使用方法及び各国法規適合などを習得
参加者：24 社 38 名（定員：20 社 40 名）

キ モデルベース開発基礎講座

内 容：モデルベース開発の基礎理論や手順などを習得
※自動車工学基礎講座と同時開催

ク 固有技術の探索活動基礎講座

①説明会

開催日：令和元年 7 月 9 日（火）、11 月 12 日（火）

会 場：浜松商工会議所会館

内 容：自社の固有技術を見える化する「固有技術探索チャート」の作成方法
の説明

参加者：24 社 24 名、13 社 18 名

②講座

開催日：西部地区／令和元年 9 月 26 日（木）、10 月 2 日（水）

令和元年 12 月 24 日（火）、令和 2 年 1 月 30 日（木）

：中部地区／令和元年 9 月 27 日（金）、10 月 25 日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 他

内 容：全 2 回講座

固有技術探索チャートを使い自社が持つ技術の棚卸しを行い、固有技術
の見える化をサポート。また、各社個別の面談を実施し、固有技術
の認識活用を促進

参加者：西部地区／18 社 38 名

：中部地区／8 社 20 名

(2) 技術研鑽

ア EV 車（四輪及び二輪）の車両分解活動

①「埼玉 EV 車両分解調査」参加報告会

開催日：令和元年 5 月 24 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館

内 容：次世代自動車支援センター埼玉の活動説明

説明／次世代自動車センター センター長 望月 英二

参加会員企業による感想

4 社／(株)ソミック石川（浜松市南区）、ASTI(株)（浜松市南区）、
(株)アーレスティ（浜松市中区）、(株)ベルソニカ（湖西市）

受講料：無料

参加者：40 社 63 名

〔県西部地域〕24 社 39 名、〔県西部地域外〕企業 16 社 24 名

②EV 車両分解調査活動

< 静岡県主催 > 対象車両：日産リーフ

・EV 車両分解調査展示説明会

開催日：令和元年 7 月 11 日（木）

会 場：浜松工業技術支援センター

内 容：EV 車両の分解調査活動の一環として、大型部品（モーター、インバ
ーター、バッテリーパック）の詳細分解展示・解説とシャーシ、ボデ
ィ関係の分解・解説を実施

受講料：無料

参加者：36 社 61 名

[県西部地域] 27 社 46 名、[県西部地域外] 9 社 15 名

※令和元年 7 月 12 日（金）～17 日（水）に貸し出し用分解部品を展示

・EV 車両分解部品の貸し出し

開催日：令和元年 8 月 5 日（月）～9 月 30 日（月）

会 場：浜松工業技術支援センター

内 容：展示した EV 車両の各部品を会員企業へ貸し出し

参加料：無料

※部品貸し出し企業は調査報告書を提出

・EV 車両分解調査報告会

開催日：令和 2 年 1 月 28 日（火）

会 場：浜松工業技術支援センター

内 容：EV 車両の部品貸し出しを受けた企業によるプレゼンや今年度の活動
についての報告

受講料：無料

参加者：30 社 51 名（定員：30 社 52 名）

[県西部地域] 23 社 37 名、[県西部地域外] 7 社 14 名

<次世代自動車センター主催> 対象車両：BMW C Evolution

・EV 二輪車両試乗会

開催日：令和元年 9 月 12 日（木）

会 場：ヤマハテクニカルセンター（掛川市）

内 容：EV 二輪車両の解説、EV 二輪車両の試乗会 など

参加費：無料

参加者：23 社 46 名

[県西部地域] 20 社 42 名、[県西部地域外] 3 社 4 名

・EV 二輪車両展示

開催日：令和元年 9 月 17 日（火）～30 日（月）

会 場：次世代自動車センター 展示室

内 容：EV 二輪車両の展示 など

参加費：無料

・EV 二輪車分解展示・説明会

開催日：令和 2 年 2 月 6 日（木）

会 場：浜松商工会議所会館

内 容：車両・車体関係の説明

電動パワートレイン関係の説明 など

参加者：23 社 44 名

[県西部地域] 16 社 29 名、[県西部地域外] 7 社 15 名

参加費：無料

・部品の貸し出しと調査解析

開催日：令和 2 年 2 月 6 日（木）～3 月 31 日（火）

会 場：次世代自動車センター ベンチマークルーム

内 容：会員企業への部品の貸し出し

会員企業による調査・解析 など

貸出企業：4 社

参加費：無料

※令和 2 年度に分解部品の展示（解説付き）や調査・解析結果報告会を予定

イ 次世代自動車関連部品の製造現場見学会 ※会員企業対象

現場見学会①「三菱電機㈱三田工場」

開催日：令和元年 6 月 19 日（水）

会 場：三菱電機㈱三田工場（兵庫県三田市）

内 容：EV 用充電器や DC モーター式 EGR バルブなどの生産ラインを見学

参加費：無料

参加者：27 社 27 名（定員：40 社 40 名、申込：39 社 39 名）

[県西部地域] 16 社 16 名、[県西部地域外] 11 社 11 名

現場見学会②「住友理工㈱小牧製作所」

開催日：令和元年 12 月 5 日（木）

会 場：住友理工㈱小牧製作所（愛知県小牧市）

内 容：防振ゴムの生産ラインなどを見学予定

参加費：無料

参加者：32 社 32 名（定員：40 社 40 名、申込：34 社 34 名）

[県西部地域] 17 社 17 名、[県西部地域外] 15 社 15 名

ウ 電気自動車用モーターの試作製作実習

開催日：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

内 容：次世代自動車に搭載される部品を購入、ベントマークルーム展示予定

エ 振動騒音測定・分析の技術習得講座

内 容：振動騒音測定技術や分析技術に関する知識の習得

※自動車工学基礎講座と同時開催

(3) 技術創造

ア 次世代自動車の搭載部品の試作実習

開催日：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

内 容：ハイテン化材の試作製作

委託先：岡本プレス工業㈱

イ 電気自動車の搭載部品の試作実習

開催日：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

内 容：モーターシャフトの試作製作

委託先：㈱コーリツ、西岡可鍛工業㈱

委託費：各 2,000 千円、2,500 千円

ウ 部品開発の共同開発プロジェクト

※実績なし

(4) 人材育成

ア 先行企業活動報告会 ※「会員企業アンケート調査結果報告会」内で開催

開催日：令和元年 7 月 4 日（木）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：先行開発企業 8 社によるスモールプレゼンテーション

イ 構造部材による軽量化基礎講座

開催日：令和2年3月 ※中止

会 場：浜松工業技術支援センター 等

内 容：全4回講座

材質の異なる構造部材の強度や剛性解析に関する知識の習得

ウ 自動車工学基礎講座

開催日：第1回／令和元年11月20日（水）

第2回／令和元年12月11日（水）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：全2回講座

第1回／振動騒音の基礎、サスペンションの基礎、衝突安全の基礎

第2回／会員企業アンケート調査結果報告、モデルベース開発の基礎、CAE技術の基礎

受講料：無料

参加者：第1回／44社111名（定員：100名、申込：50社118名）

[県西部地域] 30社92名、[県西部地域外] 14社19名

第2回／48社83名（定員：100名、申込：49社87名）

[県西部地域] 27社58名、[県西部地域外] 21社25名

(5) 販路開拓

ア マッチング

開催日：通年実施

会 場：各所

内 容：会員企業の手部品メーカーなどの技術ニーズを会員企業へ開放し、
中小企業のマッチング機会の創出に伴う販路開拓へとつなげる

成 果：3件マッチング

イ 会員企業間の交流会

開催日：令和2年3月12日（木） ※中止

会 場：市内ホテル

内 容：異業種を含めた会員企業間の交流会を次世代自動車センターが開催し、
会員企業内でのネットワーク構築を図るとともに、ビジネスチャンスの拡大を促す

(6) その他

ア 企業訪問 ※令和2年3月末時点

固有技術探索：26社

先行開発企業：31社

技術マッチング：27社

イ 広報

・パンフレットの発行

発行日：平成31年4月（2,000部）

令和元年8月（1,000部増刷）

・HPの運用

ウ 他支援機関等との連携

静岡県内の行政機関、支援機関及び中核企業に対して、次世代自動車センタ

一の概要・事業説明を実施し、会員企業の獲得及び認知向上を図った。

エ サプライヤー応援隊事業（国：中小企業・小規模事業者人材対策事業）

経済産業省の補助事業を活用し、次世代自動車センターの技術 CD の知識習得を行い、中小企業等が次世代技術への対応ができるよう各種支援につなげるとともに、地域サプライヤーの育成をすることで地元輸送用機器産業の発展につなげた。 ※次世代自動車センターの 20 の施策と連動し、本事業を遂行

- ・指導育成事業：知識習得のための各種講座等への参加 等
- ・現場派遣事業：固有技術の棚卸しと活用アドバイス

大手部品メーカー等との技術マッチングの推進 等

補助対象期間：令和元年 6 月 11 日（火）～令和 2 年 2 月 29 日（土）

補助対象経費：16,000,000 円（事業費、人件費等）

交付決定額：8,000,000 円

交付確定額：5,741,778 円

オ 次世代自動車関連支援センター全国連絡会議

開催日：令和元年 10 月 8 日（火）、9 日（水）

場 所：浜松商工会議所会館、ホテルクラウンパレス浜松

主 催：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 次世代自動車センター

内 容：意見交換会（各機関の事業報告、サプライヤー応援隊事業について）
スモールプレゼンテーション（各機関の概要について）

報告会（意見交換会における討議内容の報告）

討議（経済産業省、各経済産業局、自治体関係者との討論） 等

参加者：（公財）埼玉県産業振興公社『次世代自動車支援センター埼玉』、（公財）群馬県産業支援機構、（公財）岡山県産業振興財団、（公財）ひろしま産業振興機構『カーテクノロジー革新センター』、（公財）京都高度技術研究所、（公財）北九州産業学術推進機構、（公財）浜松地域イノベーション推進機構『次世代自動車センター』、（一社）中部産業連盟、静岡県、浜松市、群馬県、広島県、経済産業省、関東経済産業局、中部経済産業局、近畿経済産業局、中国経済産業局、九州経済産業局

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
会員入会企業数	324 社	342 社	—
訪問企業数 ※延べ件数	33 社	84 社	80 社
・固有技術探索チャート作成	8 社	26 社	40 社
・先行企業訪問調査	21 社	31 社	20 社
・技術ニーズマッチング	4 社	22 社	20 社
試作品製作企業	— 社	3 社	5 社
商談成立件数	— 件	3 件	5 件
会員企業への取引先紹介件数	9 件	— 件	—
会員企業の事業参加率	77.2%	70.4%	80%

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

7【拓く】販路開拓支援

20 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 13,202,475 円（予算額 15,605 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松市において製造業を営む中小企業者等の自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

【年度総括】

令和元年度のものづくり販路開拓事業費補助金では、国内 53 社、海外 8 社の計 61 社に補助金を交付した。昨年度同補助金で交付決定した 42 社と比較して大幅に活用件数が増えており、経営コーディネーターやプロパー職員の企業訪問による周知や、各種媒体を通じた広報の成果が表れたといえる。展示商談会出展後、数か月から 1 年程度をかけて成立する商談もあるため、本補助金を利用した企業については継続的にフォローを実施した。

【実施内容】

(1) ものづくり販路開拓事業費補助金（予算：15,000 千円）

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業等に対し、出展に要する経費の一部を補助金として助成した。

公募期間：[1 次] 平成 31 年 4 月 15 日（月）～令和元年 5 月 31 日（金）

[2 次] 令和元年 6 月 17 日（月）から随時募集

対 象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者等。又は、上記に該当するものを 1 者以上含み、研究開発を目的に 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 200 千円（国内）・500 千円（海外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費など

事業期間：平成 31 年 4 月 1 日（月）～令和 2 年 3 月 31 日（火）

ア 国内：[1 次]

申請件数：41 件

採択件数：41 件

交付決定額：7,752,000 円（41 件）

交付確定額：7,398,000 円（41 件）

：[2 次]

申請件数：12 件

採択件数：12 件

交付決定額：1,915,000 円（12 件）

交付確定額：1,641,000 円（12 件）

＜交付企業一覧＞

（単位：円）

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	ニッコウプロセス㈱ （浜松市北区）	第 4 回 名古屋 設計・製造ソリューション展	200,000

2	グローバル・リンクス・テクノロジー(株) (浜松市西区)	第 66 回 日本実験動物学会総会 付設展示会	140,000
3	(株)テクニカルサポート (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜	200,000
4	新日本特機(株) (浜松市西区)	人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜	200,000
5	ライト・イア(同) (浜松市中区)	快適睡眠づくりフェア	108,000
6	(株)ソフミックス (浜松市東区)	電子機器 2019 トータルソリューション展	200,000
7	パスコン(株) (浜松市東区)	JISSO PROTEC 2019	200,000
8	(有)太悦鉄工 (浜松市東区)	KENTEN 建築材料・住宅設備総合展 2019	200,000
9	橋本螺子(株) (浜松市東区)	第 56 回 日本リハビリテーション医学学会学術集会	97,000
10	(株)インテグラ技術研究所 (浜松市中区)	INTERMOLD 名古屋	200,000
11	中野ハガネ(株) (浜松市北区)	INTERMOLD 名古屋	123,000
12	(株)サイト (浜松市西区)	産業とくらしの関東グランドフェア 2019	200,000
13	(株)ジャパンエコテック (浜松市北区)	2019 国際食品工業展	200,000
14	オーム電機(株) (浜松市北区)	FOOMA JAPAN 2019 国際食品工業展	200,000
15	SSI(株) (浜松市中区)	第 2 回 名古屋 ロボデックス ロボット開発・活用展	200,000
16	(株)エスト (浜松市西区)	レジャー&サービス産業展 2019	200,000
17	(株)葛木 (浜松市南区)	第 22 回 関西 機械要素技術展	200,000
18	SHODA(株) (浜松市北区)	日本木工機械展 ウッドエコテック 2019	200,000
19	スナオ電気(株) (浜松市東区)	農業ワールド 2019	200,000
20	(株)鈴一興産 (浜松市南区)	第 49 回 建築総合展 NAGOYA2019	200,000
21	エグジーテック(株) (浜松市中区)	モノづくりフェア 2019	200,000
22	パイフォトンクス(株) (浜松市東区)	緑十字展 2019	200,000
23	(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)	第 10 回 Japan IT Week 秋	200,000

24	(株)小林ダイヤ (浜松市東区)	メカトロテックジャパン 2019	200,000
25	(有)雪山シボリ (浜松市東区)	メッセナゴヤ 2019	25,000
26	浜口ウレタン(株) (浜松市西区)	メッセナゴヤ 2019	152,000
27	(株)イーモア (浜松市中区)	メッセナゴヤ 2019	147,000
28	澤木工房(株) (浜松市北区)	光とレーザーの科学技術フェ ア 2019	200,000
29	ATV 株式会社 (浜松市北区)	第 55 回 2019 年国際放送機器 展	200,000
30	鈴木電機工業(株) (浜松市北区)	高機能素材 Week 2019	200,000
31	(株)スカイロジック (浜松市北区)	国際画像機器展 2019	180,000
32	ノブオ電子(株) (浜松市西区)	国際画像機器展 2019	175,000
33	(有)オグショー (浜松市東区)	東京オートサロン 2020	200,000
34	(株)エヌエスティー (浜松市北区)	第 12 回 オートモーティブワ ールド	200,000
35	(株)浅沼技研 (浜松市西区)	第 12 回 オートモーティブワ ールド	200,000
36	アート電子(株) (浜松市北区)	第 34 回 ネプコンジャパン	200,000
37	(株)SPLYZA (浜松市中区)	スポーツアナリティクスジャ パン 2020	126,000
38	クライン (浜松市西区)	わんにゃンドーム 2020	125,000
39	浜松カーボニクス(株) (浜松市中区)	nano tech 2020	200,000
40	(株)イケヤ製作所 (浜松市東区)	第 15 回 先端表面技術展	200,000
41	ヘルツ電子(株) (浜松市北区)	第 4 回 スマート工場 EXPO	200,000

2 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)浜松パルス (浜松市南区)	中小企業 新ものづくり・新サ ービス展	175,000
2	(株)エム・エス・ケー (浜松市浜北区)	メッセナゴヤ 2019	109,000
3	データバースト(株) (浜松市東区)	デジタルイノベーション 2019 名古屋	138,000

4	富士工業(株) (浜松市南区)	IIFS 2019 TOKYO	200,000
5	(株)真誠 (浜松市南区)	メカトロテックジャパン 2019	200,000
6	(株)ティーアールシー高 田 (浜松市西区)	第 14 回 しんきんビジネスマ ッチング ビジネスフェア	200,000
7	(株)美浜工業 (浜松市浜北区)	新価値創造展 2019	86,000
8	(株)SLDS (浜松市東区)	SPORTEC 2019 東京	200,000
9	(株)シントワ (浜松市中区)	釣りフェスティバル	200,000
10	Wack プランニング(株)(浜 松市中区)	BE ナショナル ビューティフ ェア	38,000
11	(有)竹山鉄工所 (浜松市西 区)	中小企業 新ものづくり・新サ ービス展	48,000
12	(株)平野工業製作所 (浜松 市北区)	中小企業 新ものづくり・新サ ービス展	47,000

イ 海外 : [1 次]

申請件数 : 6 件

採択件数 : 6 件

交付決定額 : 2,893,000 円 (6 件)

交付確定額 : 2,892,000 円 (6 件)

: [2 次]

申請件数 : 2 件

採択件数 : 2 件

交付決定額 : 1,000,000 円 (2 件)

交付確定額 : 971,000 円 (2 件)

< 交付企業一覧 >

(単位:円)

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)浜松ファーマリサーチ (浜松市北区)	2019 BIO International Convention	392,000
2	(株)AVEST (浜松市中区)	BANGKOK INTERNATIONAL AUTO SALON 2019	500,000
3	古橋織布(有) (浜松市西区)	「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2020 AW	500,000
4	(株)鈴木楽器製作所 (浜松市中区)	ミュージックチャイナ 2019	500,000
5	沢根スプリング(株) (浜松市南区)	Medecal Design & Manufacturing WEST 2020	500,000
6	(株)オノックスエムティー ティー (浜松市浜北区)	Medecal Design & Manufacturing WEST 2020	500,000

2 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)エコム (浜松市北区)	THERMPROCESS 2019	500,000
2	QUICCO SOUND(株) (浜松市北区)	The 2020 NAMM Show	471,000

(2) 海外進出サポート事業

浜松市が企画する海外見本市の共同出展に対し、出展企業の海外展開における販路開拓や事業拡大に係るサポートをジェトロ浜松と連携し、アドバイス等を行った。

<浜松市ブースを出展する国際見本市>

ア CONPAMED（医療） ※事業推進部対応

会期：令和元年 11 月 18 日（月）～21 日（木）

会場：ドイツ ノルトラインヴェストファーレン州 デュッセルドルフ

参加：沢根スプリング(株)（浜松市南区）、(株)ジーアクト（浜松市浜北区）、
仲山貴金属鍍金(株)（浜松市北区）、協同組合 HAMING（浜松市南区）、
(株)オノックスエムティーティー（浜松市浜北区）

イ NAMM Show（楽器） ※事業推進部対応

会期：令和 2 年 1 月 16 日（木）～19 日（日）

会場：アメリカ カリフォルニア州 アナハイム

参加：(株)小沢精密工業（浜松市浜北区）、(有)ハーモテック（浜松市中区）、
(株)久米（浜松市南区）

ウ Photonics West（光レーザー） ※フォトンバレーセンター対応

会期：令和 2 年 2 月 4 日（火）～6 日（木）

会場：アメリカ カリフォルニア州 サンフランシスコ

参加：パイフォトンクス(株)（浜松市東区）、(株)ブルックマンテクノロジー（浜松市中区）、(株)オプトメカエンジニアリング（浜松市浜北区）、(株)ナノプロセス（浜松市西区）

【成果指標】

項目		実績		指標
		平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
国内	出展企業数	32 社	53 社	50 社
	商談成立件数	38 件	112 件	50 件
海外	出展企業数	8 社	8 社	10 社
	商談成立件数	22 件	5 件	10 件

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

2 1 マッチング支援事業

決算額 589,066 円（予算額 2,018 千円） <財団自主>

【目的】

浜松地域の中小企業に対して、大手企業等との商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

【年度総括】

令和元年度も、販路開拓及びマッチング支援を財団の中核事業と位置づけて事業展開を図った。これまで、関係各所（大手メーカー、国等の行政機関、支援機関）へ積極的に訪問した結果、大手建機メーカーとの展示商談会、大手建設会社とのニーズ説明会等を開催し、83件のマッチングを実施した。これらのマッチング機会を成約に繋げ、地域企業の販路拡大を図るために、適切なフォロー支援を実施した。

令和2年度も、各機関と連携しながらマッチング候補大手企業との調整を行い、地域企業と親和性の高いマッチング方法を検討する。

【実施内容】

(1) 特定メーカー企業向け商談会（浜松商工会議所との連携事業）

浜松地域の主要産業である輸送機器関連分野の受注拡大、更には既存技術の応用による新事業分野への展開に向け、商工会議所との連携により、特定のメーカー企業を対象とした個別商談会を実施し、浜松地域企業の販路開拓及びビジネスマッチングを支援した。

商談相手は自動車関連をはじめとする県外の手メーカーにターゲットを絞り、商談会の開催に当たっては、対象となるメーカー企業の社内または近隣施設での実施を予定し、参加企業は三遠南信地域の企業約50社を公募・選考した。

「三遠南信地域 新技術・新工法展示商談会 in Nabtesco」

開催日：令和元年11月28日（木）

会 場：ナブテスコ(株) 津工場 大会議室

内 容：ナブテスコ(株) 津工場とのマッチング技術商談会

主 催：浜松商工会議所

共 催：（公財）浜松地域イノベーション推進機構、豊橋商工会議所、
（公財）南信州・飯田産業センター

出展社：遠州地区25社、東三河地区1社、南信州地区0社、他2社

来場数：194名 ※ナブテスコ(株)、グループ企業等

成 果：商談成立2件、試作依頼3件、見積依頼9件、後日企業訪問16件

※平成30年度実施した「(株)IHI」における1年後の調査結果（3月末時点）

成 果：商談成立5社12件（5,686千円）、継続案件18件、見積提出27件

(2) 浜松地域技術商談会

静岡県西部地域（7市1町）と連携し、浜松地域の優れた技術を持つ企業（受注企業）と新たに技術連携や事業連携、取引等を希望する大企業・商社・発注企業とのマッチング商談会等を開催した。商談会では、自動車部品・産業用機械・宇宙産業・医療機器・航空機・電子機器・環境分野等の企業を浜松へ招致し、多くのパートナーと出会えるチャンスを創出した。

また、輸送用機器関連分野を主対象に、輸送用機器大手メーカーなどが取り組んでいる製品開発や工程改善などで抱える課題解決に役立つ技術・製品ニーズと浜松地域の中小企業の技術・製品シーズのマッチングを創出する機会を設けた。

ア ダイキン工業(株)（滋賀県草津市）

開催日：令和元年9月27日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：個別面談会

※技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

参加者：3 社

成 果：1 社面談 商談継続中

イ 日立建機(株) 土浦工場（茨城県土浦市）

開催日：令和元年 10 月 25 日（金）

会 場：日立建機(株) 土浦工場

内 容：展示商談会

参加者：16 社 [市内] 企業 14 社、[市外] 企業 2 社

成 果：2 社 NDA 締結

ウ 大成建設(株)（神奈川県横浜市）

＜ニーズ説明会＞

開催日：令和元年 12 月 6 日（金）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：ニーズ説明会、個別面談会

※技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

参加者：15 社 [市内] 13 社、[市外] 2 社

成 果：エントリー11 社 個別面談 3 社実施

＜個別面談会＞

開催日：令和 2 年 2 月 5 日（水）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：エントリー後の個別面談会

参加者：8 社 [市内] 6 社、[市外] 2 社

成 果：11 社マッチング（12/6 面談の 3 社及び 2/5 面談の 8 社）

エ その他、販路開拓に係るマッチング支援は随時実施した。

(3) 浜松地域マッチング技術商談会への出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の活動内容や支援メニューなどを PR する場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチング推進などを行った。また、県西部エリアで実施されているマッチング商談会への出展に伴い、各市町と連携支援を実施した。

ア 第 13 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2019

開催日：令和元年 7 月 17 日（水）～18 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

内 容：財団ブースを設け、財団全体の PR やフォトンバレーセンター及び次世代自動車センター事業の紹介など

出展社：236 社

来場数：7,900 名（17 日：4,100 名、18 日：3,800 名）

イ 第 9 回産業振興フェア in いわた

開催日：令和元年 11 月 8 日（金）～9 日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

内 容：財団ブースを設け、財団全体の PR や次世代自動車センター事業の紹介など

出展社：180 社

来場数：5,000 名（8 日：2,800 名、9 日：2,200 名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
「新技術・新工法展示商談会※3」商談成立件数	3 社	2 社	5 社
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	2 件	2 件	5 件
マッチング件数	120 件	83 件	—

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点

※3：浜松商工会議所連携事業

2.2 海外ビジネス展開支援事業

決算額 1,795,696 円（予算額 4,052 千円） <浜松市受託>

【目的】

海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援することにより、地域産業のグローバル展開を促進するとともに、新事業分野への参入の可能性を拡張する。

【年度総括】

令和元年度の海外展開事業化可能性調査費補助金では、1 次募集、2 次募集により合計 6 件の申請があり、このうち 5 件を採択した。これらの調査先はアジア圏が最も多く、業種としては食品関係、ソフトウェア、雑貨等多岐にわたった。それぞれ調査を完了し、いずれも近々海外展開を行う、詳細調査に移行する等、次年度以降の事業展開へとステップを進めることとなった。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、人の動きや物流が滞るなど、計画通りの海外展開が可能かどうかは注視していないといけないため、補助事業終了後の令和 2 年度においても適切なフォローアップを実施する。

【実施内容】

(1) 海外展開事業化可能性調査費補助金（海外 FS 補助金）

浜松市内の中小企業者が、技術や製品の強みを核にアジア地域等への海外進出を目指して実施する事業化可能性調査に対して補助金を交付することにより、当該企業の支援を図った。

公募期間：[1 次] 平成 31 年 4 月 15 日（月）～令和元年 5 月 31 日（金）

[2 次] 令和元年 7 月 17 日（水）～8 月 19 日（月）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：国内外において実施する調査委託費用・専門家への相談費用など

申請件数：[1 次] 3 件、[2 次] 3 件

採択件数：[1 次] 2 件、[2 次] 3 件

事業期間：交付決定後～令和 2 年 2 月 28 日（金）

交付決定額：[1 次] 965,000 円（2 件）、[2 次] 885,765 円（3 件）

交付確定額：[1 次] 965,000 円（2 件）、[2 次] 830,140 円（3 件）

<交付企業一覧>

[1 次]

(単位:円)

1	企業名	(株)五味八珍（浜松市東区）	確定額	500,000
	〔対象国〕 香港			
	〔内 容〕 浜松市で製造した冷凍生餃子の香港への販路拡大に係る事業化可能性調査			
	〔成果と今後〕 自社の冷凍生餃子の香港への販路拡大のため、需要や販路を調査。香港では冷凍・加工食品の売上が伸びており、安全性の面から中国産への懸念もあるため、需要は十分見込まれる。また、現地販売代理店経由での進出が有力と判断。調査結果を踏まえ、2020 年を目処に海外展開を進める。			
2	企業名	(株)こころ（浜松市中区）	確定額	465,000
	〔対象国〕 スリランカ			
	〔内 容〕 スリランカ市場への静岡県物産の輸出及び日本式外食産業の販路開拓に係る事業化可能性調査			
	〔成果と今後〕 スリランカ市場では、エグゼクティブ層等をターゲットに、ある程度高価格でも高品質な商品の提案が必要と認識。また、現地企業への試食提供とヒアリングを実施し、バイヤーとのコネクションを形成した。今後は 2020 年を目処に海外展開を進めていく。			
計			965,000	

[2 次]

(単位:円)

1	企業名	㈱創生（浜松市中区）	確定額	155,140
	[対象国] オーストラリア			
	[内 容] 認知症予備軍の微弱な機能低下を検出する CWPT 英語版の事業化可能性調査			
	[成果と今後] オーストラリアの現地大学との共同研究を進める中、同国でのニーズ調査を実施。オーストラリアの認知症患者の予測からマーケット規模を認識。また、CWPT の活用方法についても検討することができた。今後は 2022 年を目処に詳細調査に移行する。			
2	企業名	㈱カタナコーポレーション （浜松市北区）	確定額	500,000
	[対象国] 米国、ドイツ			
	[内 容] リアルタイム可逆圧縮ライブラリ CVC シリーズの海外展開に係る事業化可能性調査			
	[成果と今後] 米国及びドイツをターゲットに、データ圧縮ソフトウェアのニーズ及び販売ルート进行调查。一定のニーズが見込まれるとともに、対応すべきデータの種類を把握したが、販売ルートについては、海外拠点を持つ国内販売代理店経由が適当と判断。今後は 2020 年を目処に海外展開を進めることとした。			

3	企業名	ペルノイ（浜松市中区）	確定額	175,000
	〔対象国〕 香港、ベトナム			
	〔内 容〕 自社遠州織物ブランド「JAPALY」の香港進出及びベトナムでの OEM 展開に係る事業化可能性調査			
	〔成果と今後〕 香港及びベトナムにて自社遠州織物ブランドの FS 調査を実施し、デザイン面や価格面での適合性や地域の特色を把握した。特に日本製のベビー用品はニーズが高く、ギフトでの需要が見込めることが分かった。今後は 2020 年を目処に香港での海外展開を進め、ベトナムにおいては詳細調査に移行する予定である。			
	計			830,140

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 30 年度※1	令和元年度※2	令和元年度
海外 F/S 補助金申請件数	6 件	6 件	10 件
海外 F/S 補助金提案採択件数	5 件	5 件	10 件

※1：平成 31 年 3 月末日時点、※2：令和 2 年 3 月末日時点



公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation